

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

国語	P 1
書写	P 7
社会	P 14
地理	P 19
算数	P 22
理科	P 29
生活	P 35
音楽	P 43
図画工作	P 46
家庭	P 49
保健	P 52

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

国語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍
国語 131, 132 新編 あたらしいこくご 一上・一下	国語 231, 232 新編 新しい国語 二上・二下	国語 331, 332 新編 新しい国語 三上・三下	国語 431, 432 新編 新しい国語 四上・四下	国語 531 新編 新しい国語 五上・五下	国語 631 新編 新しい国語 六上・六下	
観 点	調 査 の 結 果					
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも「書くこと」の活動が十分に設定され、技能にねらいを絞った練習単元と、さまざまな種類の文章を書く単元とが効果的に配分されている。 各学年とも年度当初に「図書館へ行こう」という小単元を設け、発達段階に応じた利用指導の工夫がされている。 「日本語のしらべ」では、自然や行事等に関する言葉や詩歌を写真とともに取り上げ、感性豊かに味わう配慮がされている。 					
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 広告、新聞の記事や投書など、身近なものや日常生活で経験したこと、学校生活と関わりの深い内容が「書くこと」「話すこと・聞くこと」の題材として取り上げられている。 巻末付録に収められている「言葉の力のまとめ」のコーナーでは、前学年と関連する単元のページが明記され、確認と定着が図れるよう配慮されている。 単元の最初にねらいを示し、具体的な活動については「てびき」を示し、どのような学習をしたらよいかを明確にされている。 					
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ1教材1領域でねらいが絞られている。各単元が「読むこと」の教材で始まる構成になっており、領域どうし関連が図れるよう配列が工夫されている。 各単元に既習事項の活用を促す記述があり、指導事項が段階的に指導できるよう配慮されている。 「ひろがる」や「言葉の力を活用しよう」など、国語科で身に付けた「言葉の力」を他教科等に活用する視点が具体的に提示されている。 					
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 「学習のロードマップ」や「言葉の力のまとめ」のページを設け、身につけたい言葉の力の学習、既習の言葉の力を振り返り、活用する学習を通して国語能力が確実に身につくように工夫されている。 「日本の言の葉」を各学年に2か所（第1学年のみ1か所）設けている。特に「ことのは」は、声に出して読むことで日本語の豊かさや美しさに触れさせたり、現代の自分の生活とのつながりに目を向けさせたり、配慮されている。 高学年「読む」領域の教材では随筆が用いられ、中学校との連携が配慮されている。 					

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種 目	国 語	発 行 者 名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書		
国語133, 134 みんなとまなぶ しょうがつこうこくご 一ねん上・一ねん下	国語233, 234 みんなと学ぶ 小学校こくご 二年上・二年下	国語303, 304 みんなと学ぶ 小学校国語 三年上・三年下	国語433, 434 みんなと学ぶ 小学校国語 四年上・四年下	国語533, 534 みんなと学ぶ 小学校国語 五年上・五年下	国語633, 634 みんなと学ぶ 小学校国語 六年上・六年下			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 目的をもって書くための実例を示すとともに、手順と留意点が豊富に示されており書く技能を定着させ表現力を確実に育てるための配慮がされている。 「話すこと・聞くこと」の単元では、話し合いまでの準備や話し合いの手順、話し方等を具体的に例示し、話し合いや討論のイメージ化ができるように工夫されている。 全学年で「読書を楽しもう」という単元が設定されており、さまざまな読書の楽しみ方ができるように配慮されている。 発達の段階に応じて「昔話」「短歌・俳句」「故事成語」「狂言」「漢文」「古典(随筆)」等を取り上げ、楽しみながら伝統的な言語文化に親しめるようになっている。 						
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や日常生活の中での、身近な問題、興味・関心のある題材や自分自身を見つめるような教材を取り上げ、書いたり、話し合ったりする活動に結び付けるよう配慮されている。 教科書の使い方を、親しみやすいマークで提示し、学習の見通しをもって、進んで取り組んだり振り返ったりできるように配慮されている。 「文を作って使い方を学ぶ言葉」「辞典を引いて調べる言葉」を示し、主体的に家庭学習に取り組めるよう配慮されている。 巻末に「国語のかぎ」として、「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、身につけたいことを、発達段階に応じて示している。 						
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章の学習の前には同構成の小単元が設定されており、習得と定着を促す工夫がされている。 「書くこと」では各学年に書き方・まとめ方を独立させて配置しており、適切な表現力を確実に段階的に指導できるよう配慮されている。 ものの考え方や他教科にも役立つ内容が「国語のかぎ」として示されている。「読むこと」は単元の「学習のてびき」の中に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」は巻末資料として取り上げられている。 						
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」については、自分の思いを伝える内容が多く取り扱われている。 「学級作り」というコーナーを位置付け、国語の表現活動や音読を通して、よりよい人間関係を築き、伝え合う活動が円滑に行われるように配慮されている。 巻末の資料が豊富である。 巻末に「保護者の方へ」が設けられ、教科書の内容を保護者に理解してもらい、学校と家庭で連携した学習が図れるように配慮されている。 						

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	三省堂
国語135、136 しょうがくせいのこくご上 しょうがくせいのこくご下	国語235、236 小学生のこくご 学びを広げる	国語335、336 小学生の国語 学びを広げる	国語435、436 小学生の国語 学びを広げる	国語535、536 小学生の国語 学びを広げる	国語635、636 小学生の国語 学びを広げる	
観 点						
調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝え合う力を高めるために、考えたことを発表したり書いたものを読み合ったりする活動が豊富に位置付けられている。また、「話すこと・聞くこと」の単元では、話合いの仕方や振り返りの視点を明確にし、別冊に詳しい参考資料を掲載している。 ・ 「伝統的な言語文化に関する指導の重視」を受け、低学年では「昔話」、中学年で「俳句」「短歌」「落語」「故事成語」、高学年では「狂言」「古文」「漢文」が取り上げられている。 ・ 「読書活動の充実」を受け、全ての学年で「図書館へ行こう」として、発達段階に応じた学校図書館の利用の仕方を取り上げている。また、各単元に「わたしの本だな」として単元の学習に関する図書が紹介されており、読書への関心を高める工夫がされている。 					
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学年の発達段階を考慮した題材を取り扱っている。高学年では新聞、テレビ、インターネットなどのメディアを取り上げ、実生活で生きて働く力が身に付くよう配慮されている。 ・ 親しみやすいあまんきみこのファンタジー作品を第1～4学年で取り扱っている。また、第2～6学年では「あまんさんの部屋」として児童の読書意欲を高める文章と推薦図書が掲載されている。 ・ 児童の生活に密着した題材を扱い、写真やアニメのキャラクターの挿絵などで児童の興味関心を引く工夫がされている。 					
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定の領域に偏ることなく、バランスよく配分されている。また、同じ時期に特定の領域の単元が集まらないよう工夫されている。 ・ 第2～6学年では、「新しい漢字を学ぼう」として単元学習の前に新出漢字を学習するページがある。新出漢字は15～20字程度でいずれの学年でも無理なく学習できる分量になっている。 					
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1学年では巻末に、第2～6学年では別冊で「学びを広げる」として言葉についての資料がある。国語だけでなく、他教科の学習でも活用できるよう工夫されている。 ・ 第2～6学年で巻頭に「〇年生で学習すること」、巻末に「おぼえておきましょうのまとめ」がそれぞれ見開き2ページにまとめられている。領域別に単元名や単元の目標などが示されており、見通しをもって学習したり、学習を振り返ったりすることができるように配慮されている。 ・ 第2～6学年は通年で1冊にまとめられている。年間を見通した学習や学習の振り返りがしやすくなっている。 					

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社
国語137 138 ひろがることば しょうがくこくご 1上1下	国語237 238 ひろがることば 小学国語 2上2下	国語337 338 ひろがる言葉 小学国語 3上3下	国語437 438 ひろがる言葉 小学国語 4上4下	国語537 538 ひろがる言葉 小学国語 5上5下	国語637 638 ひろがる言葉 小学国語 6上6下	
観 点						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」では、話し方だけでなく、聞き方を重点化した教材を取り入れている。 ・「読むこと」では、各教材や読書単元、および各巻末の付録に図書紹介のページを設け、多様なテーマの図書を紹介している。 ・「書くこと」では、児童に相手意識や目的意識をもって書くような意識づけがされている。 					
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階に応じた構成、学年の時数に応じた分量が考慮されている。 ・低学年では、身近な話題や、動物が登場するお話など、親しみやすい題材を取り上げている。学年が上がるにつれて、異なった時代背景や文化など、様々な立場やものの見方、考え方にふれ、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりできるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導については、各学年4月の導入教材において、カード・メモの活用・ノート指導・日記などの短時間の活動を、日常的に行えるよう工夫されている。 					
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「この本で学ぶこと」では、児童に分かりやすく内容を紹介し、学習用語を簡潔にまとめている。 ・同じく巻末の「言葉の木」「言葉の星座」では、児童の語彙力を補い、高める工夫がされている。 ・挿絵や写真、色刷りなどが多用され、鮮明で楽しい雰囲気がある。表紙はどの学年も物語を感じさせ、児童の自然な発想を促すような工夫がされている。カラーユニバーサルデザインにも配慮して作られている。 ・「ここが大事」で意識で、学習のポイントが確認できるようになっている。 					

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種目	国語	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			光村図書出版 株式会社
国語139・140 かざぐるま・ともだち 一上・一下	国語239・240 たんぼぼ・あかとんぼ 二上・二下	国語339・340 わかば・あおぞら 三上・三下	国語439・440 かがやき・はばたき 四上・四下	国語539 銀河 五	国語639 創造 六			
観 点	調 査 の 結 果							
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年以上の「読むこと」の単元では、学習の手引きを2段組構成にしている。下段は、言語活動を通して上段の読みの課題に取り組むという学習のあり方が明確にされている。 ・各学年において、読み物教材の最後にある「本は友達」や、第3学年以上の「この本、読もう」で、発達の段階に即した図書を紹介し、発展的な読書につながるよう配慮されている。 ・第2学年以上では、「聞いて楽しもう」や「季節の言葉」で昔話や短歌・俳句・古文等を取り上げ、多くの作品に接することで伝統的言語文化に親しみをもてるよう工夫されている。 ・第3学年以上の1学期の説明的文章において2教材が配置され、第1教材で習得、第2教材で活用と、主体的に児童が考え、さらに表現力の育成が図られるように配慮されている。 							
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた教材が取り上げられている。文学的文章の教材では、芸術性の高い作品や、児童の想像力や豊かな心の育成に配慮した教材が厳選されている。 ・説明的文章の教材では、段落の関係が分かりやすいものが取り上げられていて、児童が基礎的・基本的な内容を身に付けることができる構成になっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」においては、「活動の流れ」を単元の初めに示し、見通しをもって学習が進められるようになっている。 ・補充的・発展的学習内容は巻末の付録に一括して収められている。学習に用いる言葉の一覧が掲載され、随時確認することができるようになっている。また、古文やインタビュー記事など発展的内容や学習の補充になるような教材が取り上げられている。 							
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」がバランスよく配列されていて、同時期に特定の領域の単元が集まらないように工夫されている。また、2学年ごとの段階を追った系統立てた指導ができるよう配慮されている。 ・「たいせつ」の印で、生活や他領域で役立つ内容が取り上げられている。巻末付録『「たいせつ」のまとめ』で「話す・聞く」「書く」「読む」の内容ごとに整理されている。 ・第2学年以上では「漢字の広場」を設け、前学年で学習した漢字の定着を図り、日常生活の中で活用する工夫がされている。 							
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「学習を見わたそう」「いつも気をつけよう」を載せることで、これまでの学習を振り返り、これからの学習の見通しをもつ工夫がなされている。 ・第2学年以上の初めに「言葉の準備運動」という言語を通してコミュニケーションを図る活動を取り入れ、国語の学習に対する意欲を高める工夫がなされている。 ・第3学年の国語辞典、第4学年の漢字辞典の使い方は、実物の辞書に近い見本が載っているだけでなく、学習のはじめに引いてみたくなるような工夫がなされている。 ・表紙の絵が楽しく、どの学年もじっくり見入ってしまうメッセージが込められている。 							

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

書 写

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種目	書写	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍		
書写131 新編 あたらしいしよしゃ 一	書写231 新編 新しいしよしゃ 二	国語331 新編 新しい書写 三	国語431 新編 新しい書写 四	国語531 新編 新しい書写 五	国語631 新編 新しい書写 六			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・文字の組み立てや筆順、点画のつながりなどのきまりに気付かせることで、例示された文字以外にも応用できるよう工夫されている。 ・文字を書く様々な場면을例示し、目的に応じて筆記具を選んだり、文字の大きさや配列、書く速さを意識したりできるよう工夫されている。 ・学習内容が、写真や挿絵で分かりやすく示されている。 						
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2学年では、教科書に直接書き込みができるようになっており、発達の段階に応じた配慮がされている。 ・キャラクターを用いて、単元の見通しをもたせている。振り返りでは、シールや記号を用いて自分の学びを振り返ることができるよう配慮されている。 ・3～4段階に分けて学習の過程を明示し、流れを意識して学習を進めることができるようになっている。 						
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年以上は巻末に文字に関する情報が掲載され、応用や発展的な内容にも触れられている。 ・第3学年以上は既習事項を確認できるよう、参照ページが明示され、系統的・段階的に指導できるよう配慮されている。 ・「生活に広げよう」のページを設け、書写の学習で身に付けた知識・技能を、他教科等において活用することを促す工夫がみられる。 						
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・感謝の手紙や感謝状を贈るなどの活動が設定され、道徳心を養うような配慮がされている。 ・各学年に伝統的な言語文化に関する文をなぞり書きする題材が設定されている。 ・「書き初めをしよう」では、巻末に折り込みの実物大の手本を示し、文字の大きさやバランス等が確かめられるようになっている。 ・漢字表は硬筆と毛筆の比較ができるよう配慮されている。 						

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

						種 目	書 写	
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称							発 行 者 名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書		
書写132 みんなとまなぶ しょうがっこうしよ しゃ や ねん	書写232 みんなと学ぶ 小学校しよしゃ 二年	国語332 みんなと学ぶ 小学校書写 三年	国語432 みんなと学ぶ 小学校書写 四年	国語532 みんなと学ぶ 小学校書写 五年	国語632 みんなと学ぶ 小学校書写 六年			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「学習のめあて」が示され、学習内容の理解ができる。また、各单元ごとに具体的なめあてが分かりやすく示されている。また、巻末には「まとめ」により振り返りを行うことができる。 ・ 各学年で「〇〇学習の進め方」で、見通しをもって学習できるようになっている。 						
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1・2学年では、鉛筆とフェルトペン、第3学年以上では大筆小筆を取り扱い、点画の方向、点画の長短、文字の大きさと配列など、発達の段階に応じた題材が取り上げられている。 ・ キャラクターを用いたり、第1・2学年には、学習の振り返り用のシールを付けたりと児童が興味をもって取り組めるよう工夫されている。 ・ 学習の過程が示され、課題から評価までの学習の流れを意識して学習を進めることができるようになっている。 						
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3～6年では、「硬筆に生かそう」のページを設け、毛筆で学習したことを硬筆で確認できるよう工夫されている。 ・ 筆順や字形、画の組み立て方や画の長短など、基礎・基本の内容を反復的・系統的に指導できるよう配慮されている。 ・ 書写指導で身に付けた知識・技能を、他教科でも活用できるような内容が取り扱われている。 						
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の知識や技能の基礎・基本を学ぶことから、書写の芸術性への興味・関心をも喚起させるような内容となっている。 ・ パソコンでの文字との比較や、すみや筆のできる工程などを「資料」として掲載し、児童の活用意欲を高める内容となっている。 ・ 毛筆教材では、2文字以上の題材は、半紙原寸大で取り上げ、文字の大きさや画の太さ、位置等が視覚的にわかりやすくなっている。 ・ 裏表紙に「保護者の方へーこの教材でめざすことー」を示し、家庭との連携して学習が図れるよう配慮されている。 						

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種目	書写
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
書写133 しょうがくせい のしょうしゃ 一年	書写233 小学生のしょう しゃ二年	書写333 小学生の書写 三年	書写433 小学生の書写 四年	書写533 小学生の書写 五年	書写533 小学生の書写 六年	三省堂	
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な技術が身につくよう簡潔な説明で分かりやすく編集されている。 ・ 3～6学年の毛筆の学習では、基本点画の書き方が身につくよう、穂先の朱墨を濃くして穂先の動きを分かりやすく示している。 ・ 「発展」として、2学年では毛筆、6学年では行書を紹介している。3学年からの毛筆の学習や中学校の行書の学習につながるよう工夫されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達段階を考慮し、筆記用具や題材の取り扱いを工夫している。 ・ 「ひろげよう」では、学習したことを生活に生かせるような題材を扱っている。 ・ はがきや便箋、原稿用紙などいろいろな用紙を取り上げ、用紙に応じた書き方ができるよう配慮されている。また、書く内容もお礼の手紙や招待状、ポスターなど日常生活に役立つものになっている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本をおさえ、段階的・系統的・発展的に学習できるよう教材の工夫がなされている。 ・ 3～6学年では、毛筆と硬筆の関連を意識し、題材を配列している。 ・ 全学年で巻頭に姿勢や用具の扱い方、筆記用具の持ち方がイラストを用いて分かりやすく示されている。低学年、中学年、高学年で同じ内容にし、指導が定着するよう配慮している。 						
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「考えよう」というコーナーを設け、児童自らが課題を発見し、解決できるような工夫がなされている。 ・ 第5学年で俳句を書く活動を設定したり、第6学年で「温故知新」という漢文からの熟語を取り上げたりして、伝統的な言語文化と書写とのつながりを考慮している。 ・ 3～6学年では、左ページに毛筆の手本があり、右ページに硬筆で書く欄が設けられている。内容ごとに硬筆との関連が図られている。 ・ 全学年で巻末に学年の配当漢字一覧表がある。筆順に注意しなければならない漢字には、特別に筆順を示している。また、前学年で学習した漢字も掲載している。 						

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

						種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
書写134 しょうがく しょしゃ1	書写234 小学しょしゃ 2	書写334 小学書写3	書写434 小学書写4	書写534 小学書写5	書写634 小学書写6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、巻頭に「学習のめあて」が示され、学習内容の理解ができる。また、各单元ごとに具体的なめあてが分かりやすく示されている。さらに、巻末の「学習のまとめ」により、1年間の学習の振り返りがしやすくなっている。 ・3年以上では、「学習の進め方」を示すことで、児童が見通しをもって学習できるよう夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆、毛筆ともに児童の発達段階を考慮した題材を取り上げている。1年では、初めに指でなぞれる工夫がされている。 ・「書いて伝えよう」「トライあんどチャレンジ」のコーナーを設け、書写で学習したことを生活や授業に生かせるようにしている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・3年以上では硬筆・毛筆教材がバランスよく扱われ、限られた時間でも効果的な指導ができるよう配慮されている。 ・書くときの姿勢や、筆使い、字形の整え方などの基礎・基本が身につくよう、写真や図を活用して、子ども自身が見て分かり実践できるようにしている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・3年の毛筆学習への入門期の扱いが詳しくて分かりやすい。また、3年以上の毛筆教材において、穂先の動きを朱墨で分かりやすく示している。 ・「知りたい 文字の世界」のコーナーでは、児童の発達段階に応じて「文字の歴史」「筆文字をさがそう」などのテーマが設定され、文字に対する興味・関心を促す工夫がされている。 					

教科用図書の記号・番号・名称						種目	書写	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			光村図書出版 株式会社
書写135 一ねん しょしゃ	書写235 二年しょしゃ	書写335 三年書写	書写435 四年書写	書写535 五年書写	書写635 六年書写			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・第1・2学年では、声を出しながら正しい姿勢が確認できるようになっている。 ・第3・4学年では、文字の組み立て方を理解しやすくするため、部分の幅の違いを色別に示したり、重なり合わせて視覚的に分かりやすく示したりしている。 ・第5・6学年では、書く場面や紙面を比較して、目的に応じた書き方ができるように工夫されている。 ・画の方向や点画のつながりなど基本的な技法が、イラストや写真で分かりやすく表現されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階を考慮した題材が取り上げられている。 ・第2学年以上では、「もっと知りたい」のコーナーが設けられ、文字・筆・紙・墨・硯などに関する情報を載せて、児童の興味関心をひくよう工夫されている。 ・第6学年で行書を紹介するページを設け、中学書写との連携が図られている。 ・各学年で「たいせつ」というコーナーを設け、課題発見を促して、自主的に学習できるように配慮している。 ・第4学年以上に「学習の進め方」のページを設け、見通しをもって学習できるよう配慮されている。 						
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項から応用場面へと、段階的に学習できるよう配慮された単元構成になっている。 ・第1・2学年では、文字を指でなぞったり、文字の形を視覚的に捉えやすくしたりする工夫をすることによって、基本を身に付けられるよう配慮されている。 ・第3・4学年では、毛筆で書くことのよさを知り、学習したことを生かす場面を意識して学べるよう工夫されている。 ・第5・6学年では、巻末に、はがきや手紙の書き方など、日常生活に生かすための資料がまとめられており、学んだことを生かす工夫がされている。 ・全学年で「国語の学習に生かそう」のコーナーを設け、書写の学習で身に付けた知識・技能を活用できるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・導入・理解・確認・応用・自己評価という学習の流れを単元の基本とし、基礎・基本の定着が図れるように示されている。 ・筆使い（穂先）を詳しく示し、始筆・送筆・終筆の仕方を捉えやすくする工夫がされている。特に、初めての毛筆学習となる第3学年では、手本を大きくしたり、親しみやすいキャラクターを用いたりして、分かりやすく示されている。 ・ことわざや故事成語、俳句などを、文字を書く題材として設定したり、漢字から平仮名や片仮名が生まれたことを分かりやすく示したりして、伝統文化を尊重する態度を養うよう配慮されている。 ・当該学年だけでなく、前学年で学習した漢字も巻末に掲載されている。また、第3学年以上では、配当漢字を硬筆と毛筆の書体で示し、硬筆と毛筆の学習の関連が図られている。 						

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種目	書写	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			日本文教出版
書写 136 しょうがくしょしゃ 一ねん	書写236 小学しょしゃ 二年	国語336 小学書写 三年	国語436 小学書写 四年	国語536 小学書写 五年	国語636 小学書写 六年			
観 点	調 査 の 結 果							
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な技法について、写真や挿絵で分かりやすく示されている。 ・ 「考える」「確かめる」「生かす」という3段階の流れで学習し、目標が達成できるように工夫されている。 							
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「もっと書こう」のコーナーを設け、様々な場面で役立てることができるよう配慮されている。 ・ 「チャレンジ」のページを設け、次学年以降への関連が図られている。 ・ 高学年には「学習の進め方」が設けられ、見通しを持って学習を進めることができるようになっている。 							
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4～第6学年は、「思い出して書こう」という単元からそれぞれ始まり、基礎基本の内容を系統的に指導できるようになっている。 ・ 「広がる学び」や「もっと書こう」では、書写指導で身に付けた知識・技能を、他教科でも活用できるような内容が取り扱われている。 							
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年賀状や原稿用紙、手紙や封筒を取り上げ、日常生活の中から書き方の知識が身に付くよう配慮されている。 ・ 古文や文語調の題材を取り上げ、伝統文化への興味・関心を高めるような配慮がされている。 ・ 毛筆教材では、始筆・送筆・終筆を視覚的に示したり、擬態語を用いて点画の筆圧を感覚的にとらえさせたりするよう配慮されている。 ・ 適切な字形や文字の大きさ、配列などを考えさせるような事例が取り上げられている。 							

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

社 会

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	社 会
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
		社会331・332 新しい社会3・4上・下		社会531・532 新しい社会5上・下	社会631・632 新しい社会6上・下		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の内容に沿った単元配列になっており、全体としての構成、内容、単元の区分も適切である。 ・ 身近な生活の中から、興味・関心を持たせ、問題解決的な学習を通して主体的に地域社会に学び、理解を深めさせる内容になっている。また、学習の進め方を丁寧に示している。 ・ 問題解決的な学習を通して、国土の様子や人々の生活と食料生産、工業生産、情報化社会、環境保全について全国各地の具体的な事象からその特徴をつかませ、多様な資料を効果的に活用して理解を深めさせる内容になっている。 ・ 資料を活用しながら、問題解決的な学習を通して、我が国の歴史や政治の働き、国際社会における我が国の役割についての理解が深められるよう工夫されている。 ・ 各学年とも資料が豊富であり、写真やイラストの説明を加えるなど、本文と資料との関連が図られ、内容も適切である。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を明確に示し、問題解決的な学習が進められるよう構成されている。また、「予想する、計画を立てる」等、見通す段階を明示したり、書き込み欄を設けたりして、主体的に学習が進められるよう配慮されている。 ・ 単元末に「まとめる」場面を提示し、学習問題を確認しながら、話し合い活動や、ノートへのまとめ、新聞などの具体例があり、様々なまとめができるようにしている。 ・ 「ひろげる」コーナーを設け、発展的な学習につながる多様な事例が示されている。 ・ 内容に応じて、写真や図表・挿絵などが適切な大きさと豊富に配置されている。 ・ アニメキャラクターを登場させ、学習のアドバイスをしたり、興味・関心をもって学習したりできるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の主体的な学習を促す構成となっており、内容の配列も適切である。 ・ 学年間のつながりを重視し、学年のまとめや次学年の予告ページを提示している。 ・ 選択教材は、どちらを選択しても学習が進められる十分な資料が掲載されている。 ・ 全学年に「まなび方コーナー」が設置され、「見る・聞く・ふれる(観察・調査)」「読み取る(資料活用)」「表す・伝える(表現)」の3つの場面で学び方のポイントが適切に示されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な活動場面を紹介する「学びのポイント」や用語の解説をする「ことば」の欄により、学習がスムーズに進むように配慮されている。また、まとめる場面には、重要なキーワードを「ことば」として載せ、「ことば」を活用した活動ができるよう工夫されている。 ・ 様々な仕事や社会的活動に携わる人々の話を掲載し、人間の生き方を学び、自分のこれからの生き方についても考えられるよう配慮されている。 ・ 資料には、見開きごとに通し番号を付け、指示しやすい配慮がされている。 ・ 各学年に取り上げている選択教材は、実態に応じて取り上げられるよう、質・資料ともに豊富に掲載されている。6年下の政治の学習では、東日本大震災を取り上げ、選択教材として扱われている。 ・ 栃木県の事例として、3・4年下では、宇都宮市のごみ処理、6年足利学校、日光東照宮(写真)、田中正造と足尾銅山を取り上げている。 						

教科用図書の記号・番号・名称						種目	社 会
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	発行者名	
		社会 333 334 小学社会 3・4上 3・4下		社会 533 534 小学社会 5上 5下	社会 633 634 小学社会 6上 6下	教育出版 株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の内容に沿った単元配列になっており、全体としての構成・内容・単元の区分も適切である。 ・ 「学びのてびき」を設け、学習場面に応じた活動の方法や手順、注意点が示されている。特に、3・4年上の「学びのてびき」は、発達段階に即した調べ方、まとめ方などのポイントが適切に提示されており、学習しやすい配慮がされている。 ・ キャラクターを活用することにより、児童の興味・関心を高めさせる工夫がされている。また、キャラクターの吹き出しに児童の発想や思考の流れによって生じる「疑問」「つぶやき」「課題」を記述することで学習が深められるよう配慮されている。 ・ 関係者へのインタビューはピンク色に着色され、その人の顔写真も合わせて載せてあるので児童が関係者の思いや願いを感じ取れるよう工夫されている。 ・ 学習内容に対応する写真や図表などの資料が多く掲載されており、児童の視点が広がるような工夫がされている。また、関係者の話や解説などの多様な資料を提示することで、資料を活用して学ぶ力が身に付くよう配慮されている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 難解な用語については解説が載っている。 ・ 3・4年上の巻頭には、2年生までの生活科の学習を踏まえ、社会科学習の流れや取り組み方が分かりやすくまとめてある。また、巻末の「社会科ガイド」では、見学の仕方や調べ方、発表の仕方といった基本的なことをまとめて解説している。 ・ 3・4年上では、ノートのとまとめ方や見学メモの例が随所に掲載されており、学び方の参考となっている。 ・ 地図などに直接書き込みながら、国の位置、国土の地形などの特色について理解できるよう工夫されている。また、表やグラフを作成することで気候の特色について考えることができるような工夫もされている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つかむ」「調べる」「まとめる」といった3つの段階を踏まえた活動の配置がされている。 ・ 5年では、国土の地形や気候の特色を学んだ後に産業についての学習となるので、これらの事柄を関連させながら考えることができるようになってきている。 ・ 5年の「沖縄の暮らし」と「北海道の暮らし」や、「高地の人の暮らし」と「低地の人の暮らし」の選択学習では、見開き2ページにそれぞれの生活が対のように配置されており、比べ関連させながら学習しやすい。また、選択学習のページはインデックス表示がされており、開きやすい工夫がされている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やってみよう」のコーナーでは、学習内容に関連した課題を提示して意欲的な活動を促したり、教科書に直接書き込めるワーク的な活用ができたりと工夫がされている。 ・ 言語活動の充実を図るため「伝え合う」のページを設け、学習のまとめとして様々な方法で伝え合う活動を取り入れられるよう紹介している。 ・ 「広げ深める」コーナーの設置で、学習したことを生かして発展的な課題に取り組めるような様々な情報を提供している。 ・ 5・6年の「確かめ考える」のコーナーは、単元のまとめを穴埋め形式にするなどして、教科書に書き込めるようにしている。 ・ 5・6年では、教科書で取り上げられる重要な言葉、事柄については最後のページの索引にまとめてあり、見つけやすいよう工夫されている。 					

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

						種 目	社会
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	光村図書出版株式会社	
		社会335 社会3・4上	社会336 社会3・4下	社会535 社会5	社会635 社会6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも、学習指導要領に沿った単元配列になっており、全体としての構成、内容、単元の区分も適切である。 問題解決的な学習を軸に、身近な生活や事例から、話し合い活動を通して課題を追究し、学習を深めていくことができるよう配慮されている。 教科書巻頭に学習を進めていく流れやヒントが紹介されており、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。 見学や体験活動を重視し、地域社会について理解が深められる内容になっている。 身近な事例について、話し合って学習課題を設定する場面が提示されており、我が国の国土と産業、情報化社会、環境保全への理解を深めさせる内容になっている。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 小単元の学習の流れが、ホップ・ステップ・ジャンプという構成になっており、児童が主体的に課題を追究することができるようになっている。 写真や図表、挿絵などを大きく見やすく掲載し、児童の関心を高めるような取扱いがなされている。 単元末に学習の内容理解を深めるような資料が提示され、補充的な学習、発展的な学習につながるよう配慮されている。 平易な分かりやすい文章で書かれており、児童にとって理解しやすい本文となっている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に当該学年までに習得した技能がまとめられており、他学年とのつながりを意識させられるように工夫されている。 歴史学習では、児童の学習意欲の持続やとらえやすさに配慮して、単元全体が古代、中・近世、近代、現代の4つに区切られている。 総合的な学習の時間と関連づけ、主体的な活動ができるような事例が取り上げられており、他教科、他領域との関連が図れるよう配慮されている。 児童の発達段階に合わせた学習活動や学習のまとめ方の例が示されており、単元末には児童の生活経験や興味・関心に対応して、それまでの学習を発展できるような資料が示されている。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 3、4年生用の教科書は上下分冊に編集されているが、5、6年生用は年間1冊となっており、単元を入れ替えての学習や、「国土」と「産業」、「歴史」と「政治」「国際」の内容を関連付けたり、比較したりしながら学習することができるように配慮されている。 ノートの記入例や話し合いにつながる発言例などが提示されており、社会科における言語活動を充実させるための工夫がなされている。 学習方法や重要語句は、「たいせつ」「ことば」のコーナーに明確に示されている。 本県の事例として、5年生では那須烏山市の「国見の棚田」が、6年生では、「日光東照宮の陽明門」と「足尾鉾毒事件と田中正造」が取り上げられている。 						

						種 目	社会
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	日本文教出版 株式会社	
		社会337 338 小学社会 3・4上 3・4下		社会537 538 小学社会 5上・5下	社会637 638 小学社会 6上・6下		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成としている。 児童が、興味・関心をもち、主体的に問題解決的な学習に取り組むことを通して、それぞれの学年でねらう理解、能力、態度の目標に到達できるような仕組みを設定している。 各学年の「ふりかえってみよう」における「ふりかえりシート」への書き込み、47都道府県ぬり絵マップ、県の学習での白地図、5年の日本や世界の地理的な学習では、地図帳や地球儀の一層の活用を図っている。 効果的な表現方法を工夫しながら「話す・聞く・書く」活動を重視し、言語活動を充実させてまとめられている。 全学年を通じて、児童の立場からの発言や話し合い、児童のもっている力を最大限に発揮しての調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方などを示唆している。 						
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 人々との出会いやメディアの活用など、作業的・体験的な活動を児童の発達段階をふまえて位置づけている。 インターネット、図書館、博物館、手紙などのさまざまな方法で、興味をもって調べたり、それに基づく表現活動も、多様な方法で行えるようにしたり、展開を配慮している。 「学び方・調べ方コーナー」では、社会科の苦手な児童に対しても、明確にポイントを示し、具体的に指導できるようにも配慮している。 他教科、道徳、総合的な学習の時間等との関連が適正になされており、空間（地理）的・時間的（歴史）認識を広げ、深めていく工夫がされている。 						
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 児童の思考の流れを考慮した組織・配列をしている。 児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程をわかりやすいように配列されている。 各小単元の毎見開きの最初に「わたしの問題」、学習の区切りの最後に「みんなで話したいこと」、「わたしの見方・考え方」を設定することによって追究活動を示唆し、その小単元での学習の基礎・基本の定着に重点を置いた内容の精選と焦点化を図っている。 学習対象についての情報や資料、追究過程を原則見開き2ページにまとめ、コンパクトに配分している。 						
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重を基本理念として、共生社会をめざす姿勢を大切にしている。特に、高齢者との交流（3・4年上）や、第一次産業従事者や農山村の高齢化（5年）、民生児童委員の活動（6年）などの事例を通して、高齢化の進む社会のあり方について考えさせようとしている。 学習指導要領の趣旨である「調べ、考え、表現する」をふまえ、児童の素朴な疑問から問題をつかみ、見通しをもって調べ、考え、解決していく流れになっている。 「ふりかえってみよう」では、自分の考えたこと、調べたことを表現していく学習を重視している。 3・4年上下、5年上、6年上の最初に、見開きページで、「この教科書のしくみ」を掲載し、教科書の構成をつかめるようにしている。 本文記述の際には、本文は、学習の進め方や児童の追究活動を中心とした記述とし、児童の「主体的な学習」を支援する手引きとなるよう配慮している。 本文に対応して、児童が書いた「見学メモ」「〇〇さんのノート」など、調べ方や調べたことの整理の仕方などを例示している。その際、児童の発達段階をふまえ、使用する用語・語句を吟味するとともに、学習の流れが理解しやすいように表現が配慮されている。 						

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

地 図

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	地 図
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
			地図431 新編 新しい地図帳				
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 海に囲まれた日本列島の図が3か所に掲載されており、日本の位置及び領土、地形、自然災害と防災等について正確な理解が図れるようになっている。 ・ 日本の主要都市周辺は、土地利用図が詳しく示されており、その土地の産業の様子がとらえられるようになっている。 ・ 一般図の中の絵記号やイラストが、親しみやすくわかりやすく表示されている。 ・ 主題図が大きく掲載され、表やグラフ、イラストから、内容を正しく読み取ることができるように配慮されている。 ・ 本県の渡良瀬遊水地(ラムサール条約)、日光の社寺、いちごが取り扱われており、本県の特色が読み取れるようになっている。「地図の使い方」では、本県を中心とした関東地方が掲載されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やイラストの活用など、各都道府県の特徴的な特産物や事象に興味関心が持てるように工夫されている。「日本と世界の自然」では、統計資料だけでなく山・湖・島の形も示し、その特徴を捉えやすい工夫がされている。 ・ キャラクターの吹き出しにより、児童の発想や思考の流れによって生じる疑問を記述することで学習が深められるようになっている。 ・ 各地図に特産品や主な産業などがイラストで載っていて、地図に親しみやすい配慮がされている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の見方、日本の地方ごとの基本図・拡大図、世界全図と地球儀、世界の地方図、統計資料、索引、日本の自然災害、世界の国々の順に配列されていて適切である。 ・ 地図の縮尺が種類別に統一されている。 ・ 一般地図のページには図や写真を掲載することを控え、地図が主役となる構成となっている。 ・ 日本・世界地図ともに一般図はすべて見開き、またはページ単位で構成され見やすく配列されている。日本の一般図は、同縮尺・同一図法で描かれており、各図の範囲と位置が分かりやすく適切である。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・ A4判なので、地図の文字や記号が大きく表示されている。地名の漢字の読み仮名も読みやすくなっている。 ・ ユニバーサルデザイン書体である丸ゴシック文字が採用されており、親しみやすいものになっている。 ・ 地球儀の見方・使い方が、大きい写真を使って詳しく説明されていて、分かりやすくなっている。 ・ 「地図帳の使い方」では、4ページに渡って、基本的な地図帳の使い方について具体例を示し、丁寧に解説されている。 ・ オリンピックやサッカーのワールドカップの開催地、世界遺産の掲載や、京都、奈良、東京を写真付きの見開きで取り上げるなど、社会科授業の他、総合的な学習の時間や、家族旅行等、さまざまな場面での活用が考慮されている。 					

						種 目	地図
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 帝国書院	
地図 432 楽しく学ぶ小学生の地図帳 4・5・6年							
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各地方ごとの地図では、地域の特徴ある人々の生活や産業が読み取れるよう、等高段彩と市街地・田・畑などの土地利用を組み合わせた地図表現をベースに、産業（農林水産業、工業製品・伝統工芸品）などの絵記号を豊富に掲載している。 日本とそのまわりでは、近隣の国々との位置関係、北方領土・竹島・尖閣諸島などの日本の領域および周辺海域を正しくとらえられるよう、国別に色分けした地図を掲載していて、近隣諸国もわかりやすく描いている。 日本の歴史では、「下野」や「土佐」など、昔の国の範囲がわかる地図や、江戸時代の交通網を示した地図、史跡や古戦場など歴史の舞台が読みとれる主題図を掲載している。 栃木県の扱いについては、地図の中に農産物、伝統工芸品、工業製品がイラストで表現されている。また、「関東地方」の地図を活用することにより、周辺の都県とのつながりや本県の特徴がとらえやすいように工夫されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 地図の仕組みや使い方を理解させる「地図のやくそくごと」や「地図帳の使い方」、用語の解説などが掲載され、児童の発達段階、興味・関心に適応している。 イラストや写真による特色の紹介やキャラクターの吹き出しにより、地図の読み取りのポイントを示し、学習が進められるよう工夫がされている。 日本の自然や産業の様子、歴史や世界との結びつきなどについて、地図、写真、グラフなどにより、補充・発展的な学習に取り組めるよう配慮されている。 世界地図では、「世界の国をクローズアップ」や「トライ」、「注目しましょう」などにより、調べ学習を促す工夫がされている。また、地図にまとめる作業手順を示したり、豊富な情報を掲載したりして、児童が主体的に学習できるよう配慮されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 地図指導、日本と世界の一般図、主題図、統計資料、索引、地震・火山の災害と防災、世界の国々の順に掲載されており、構成・配列は適切である。 「日本編」は、「見渡す地図」「地方別の地図」「くわしい地図」に分かれており掲載されている。特に、地方別地図は、100万分の1で統一されている。「世界編」は、「陸の高さ地図」「国別色分け地図」に分けて掲載されており、配列は適切である。 巻頭に都道府県の区分、県庁所在地名を示した地図を次に都道府県名やその位置を特産物や名所のイラストをイメージづけながら学習できるよう掲示されている。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 日本列島の位置、南西諸島の位置や距離の感覚、都道府県の名称と位置、日本の領土・領域を確実にとらえられ、学習指導要領で求められている「国土理解」に依拠している。 日本の地方別の地図は、土地利用表現や絵記号を採用し、豊富に掲載された主題図からも自分の住んでいる地域の人々のくらしや風土がわかるようになっている。郷土の学習で活用できるよう、市町村合併前の旧市町村名も掲載されている。（栗野や西方などの地名が記載されている。） 学びへの配慮として、色覚に特性をもつ児童をはじめ、すべての児童が学びやすいよう、色彩表現を工夫している。地名表記も国語で学習する「とめ」や「はね」、「はらい」が正しい書体の漢字を使用している。 						

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

算 数

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	算 数		
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍 株式会社			
算数 131・132 あたらしいさんすう 1上・1下	算数 231・232 新しい算数 2上・2下	算数 331・332 新しい算数 3上・3下	算数 431・432 新しい算数 4上・4下	算数 531・532 新しい算数 5上・5下	算数 631 新しい算数 6				
観 点								調 査 の 結 果	
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・「考えよう伝えよう」を2年下巻から全巻に配置し、児童の考えを式や図などの数学的な表現を用いて、算数科の特性を生かした言語活動例として提示してある。他者の考えを読み取って説明する活動を通して、筋道を立てて考え表現する力が身に付くよう工夫されている。 ・全学年にノートづくりの例「算数マイノートをつくろう」が設けてある。学年発達段階に配慮した記述内容の構成になっているので、自分の考えや友達の考え、学習の感想などを書く活動を通して、主体的に言語活動ができるように配慮されている。 ・巻末に基礎的・基本的な技能の定着のための「ほじゅうの問題」がある。難易度別の2段階の問題なので、個々の習熟度に応じて取り組むことができる。また、解答も掲載されているため、個々の学び直しや家庭学習でも使い、自学自習の学習習慣を身につけられるようになっている。 ・2年下巻から前学年までの既習内容の中で、本単元に必要な内容や、児童が苦手としている内容をまとめた「ふりかえりコーナー」が巻末にあり、自力で学びなおしができるような配慮がなされている。 ・既習内容を総合的に活用し、統計資料から読み取りや考察をする内容「算数の目で見てみよう」(5, 6年)では、複数のグラフから必要な情報を読み取って数学的に分析、考察し、児童の活用する力を高める問題を豊富に取り上げている。 							
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・児童のつまづきやすい箇所や理解の定着が難しい内容については、スモールステップで理解が深められるような工夫をしたり、理解を確認する問題を多く設定したりして、確実に習得できるような配慮がなされている。 ・「やってみよう」「算数の目で見てみよう」「かたちであそぼう」「考える力をのばそう」「算数のおはなし」「算数新はっけん」「おもしろ問題にチャレンジ」「算数おもしろ旅行・算数卒業旅行」等のページでは児童自身が探究する活動を通して、算数の学習を深め、広げる場が設定されている。 ・「おぼえているかな」のページでは、授業でもしくは児童自身で既習内容の確認ができる。 ・巻頭の「“新しい算数”を使って学習しよう」には具体的な学習方法が例示されており、授業での学習だけでなく、家庭学習の習慣が身につくような配慮がなされている。 							
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達段階や単元相互の関連、領域のバランスなどを配慮した構成、配列となっている。 ・「単元のプロローグ」では、児童の身の周りにある物を算数の視点で捉え直すことにより学習意欲を高める内容となっている。また、既習内容を振り返ることにより、導入がスムーズになるよう配慮されている。 ・問題解決の場面において、思考の手順や観点など学習の手がかりを側注に示し、図や式、操作などを用いて説明する活動を十分に行えるような配慮がなされている。 							
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「しあげ」では問題のめあてとフィードバックのページが明記されており、自己評価や、本文に戻って学習内容の確認ができるような配慮がなされている。 ・全国学力・学習状況調査や各自治体で行われた学力調査等の結果から、正答率の特に低い内容を中心に解説や練習問題を設定している。 ・文章の読みやすい位置での改行や重要項目の枠組み、色だけでなく形や模様でも区別できるようなカラーバリエーションの観点からの配慮、図の背面をすっきりさせるなど特別支援の観点からの配慮など、ユニバーサルデザイン化の工夫がなされている。 							

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書 株式会社	
算数 133 新版たのしい さんすう1	算数 233 新版たのしい 算数2	算数 333 新版たのしい 算数3	算数 433 新版たのしい 算数4	算数 533 新版たのしい 算数5	算数 633 新版たのしい 算数6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある題材を利用した算数的活動や、学習した知識や技能を生活場面で生かす算数的活動を取り入れ、数理的な処理のよさに気づくことができるよう工夫されている。 ・式に関する指導を重視している。式に表したり、式を読み取ったり、式で処理したりして考えを進める経験を豊富にしている。 ・単元末の「まとめの練習」では、学習内容の振り返りを図りながら、基礎的・基本的な内容の定着が図れるよう工夫されている。 ・巻頭に「算数の学び方」を配置し、学習の流れや話し合いの観点を示している。「学習の進め方」や「ノートの例」を示し、授業の中で十分に言語活動が行われるよう配慮されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに「アプローチページ」が設けられており、新しい学習への見通しをもたせるとともに、学習意欲が喚起されるよう配慮されている。 ・「算数たまたまばこ」では、発展的な問題が示され、選択して扱えるよう工夫されている。 ・適用問題と「まとめの練習」には補充問題として「レッツトライ」がある。星マークが付いたやや難しい問題もあり、自主的な学習ができるように配慮されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・目次には、関連する既習学年と単元名が記されている。既習事項を重視し、単元間や学年間の関連を図りながら、単元内の学習内容や技能の習熟ができるように配慮されている。 ・6年では、巻末にある「数学の世界へ」で、算数の発展問題を記載し、算数と数学とのかわりを解説してあるなど、系統性について配慮されている。 ・生活に密着した算数を、単元の導入や練習問題、「算数たまたまばこ」のコラムなどで、取り上げ、他教科や環境問題、時事問題との関連が図れるよう工夫されている。 ・基礎的・基本的な内容に十分な紙面のスペースを配当している。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年とも学年1冊となっており、既習事項を繰り返し確認、復習することができるようになっている。 ・4年以上の巻末に「数直線図のかき方」を取り上げ、数直線をかいて考えたり、説明したりする力が身に着くよう配慮されている。 ・文字間が広く、ゆったりとしていてわかりやすい。 ・しきつめ活動などに使用する付録、複合図形などの図形が付録として充実しており、ノートに貼り付けられるようになっている。 						

教科用図書の記号・番号・名称						発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校図書 株式会社
算数134 みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう1ねん	算数234・235 みんなと学ぶ 小学校算数 2年上・2年下	算数334・335 みんなと学ぶ 小学校算数 3年上・3年下	算数434・435 みんなと学ぶ 小学校算数 4年上・4年下	算数534 みんなと学ぶ 小学校算数 5年	算数634・635 みんなと学ぶ 小学校算数 6年 中学校へのかけ橋	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の確実な習得のため、内容は易から難へと段階を細かくして展開し、児童の発達段階に応じたものになっている。 ・単元の導入では、「数える」「測る」「体験する」「切る」「折る」「作る」「調べる」等の作業的・体験的な算数的活動を数多く取り入れて、活動する楽しさと充実感を味わえるようにしている。 ・ノートの書き方の工夫を示した「ノート名人になろう」や、説明でよく使われる話型を紹介した「ことば」のコラムを設けるなど、言語活動の充実に必要な配慮がなされている。 				
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では基礎的な知識・技能や概念・原理の理解、中学年では考えること、高学年では主体的に考え活用する態度に重点がおかれた内容となっている。 ・「力だめし」では、各問題に学習の観点を示しチェック欄を設けることで、学習内容の確認や学習場面の振り返りができるようになっている。 ・巻頭の「算数でよく使う考え方」では、類推・帰納・演繹の考え方が具体的に示され、これからの学習に活用できるように工夫されている。 ・巻末の「力をつける問題」は、「サポート」「ほじゅう問題」「チャレンジ」というねらいの異なる3種類の問題によって構成されており、個々の習熟に柔軟に対応できるように工夫されている。 ・中学校へのスムーズな接続を考え、6年に別冊「中学校へのかけ橋」がついている。 				
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の内容を確実におさえた上で課題を精選し、余裕のある時間配分ができるように配慮されている。また、1時間ごとの分量は、発達段階に合わせた適切な分量になるように工夫されている。 ・各単元は、日常の場面から導入し、現実の問題について算数を使って課題解決できるように工夫されている。 ・単元導入時の「学びの準備」や、算数的活動を効果的に進めるための「学習の手引き」（ページ右側の側注にある）など、考える力を育むていねいな単元展開になっている。 				
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・つまづきが多い内容である「倍の計算」については、本単元と切り離して特設単元として学習することができるようになっている。 ・問題解決にあたって児童が図をかいて考えることができるように、1年から6年まで系統的に図の学習ができるようになっている。 ・全国学力・学習状況調査問題を研究・分析した問題が「チャレンジ」の中に掲載されている。さらに側注に手引きがあり、解決に至るプロセスが確認できるようになっている。 				

教科用図書の記号・番号・名称						種目	算数	発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年			教育出版 株式会社
算数136 しょうがく さんすう1	算数236・237 小学算数 2上・2下	算数336・337 小学算数 3上・3下	算数436・437 小学算数 4上・4下	算数536 小学算数5	算数636 小学算数6			
観 点		調 査 の 結 果						
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 児童自身が生活場面の中から問いを見つけ、身近な問題として主体的に学習に取り組めるような工夫がある。また、算数を生活の中に生かしていく場面を豊富に取り入れるなど、生活との関わりが重視されている。 吹き出しを用いて、子どもの問いや考え方のヒントを示し、見通しをもって段階的に考えられるようにしている。 「友達のノートを見てみよう」（2年以上）や「算数で使いたい考え方」（3年以上）などが設けられており、言語活動が主体的に行われるように工夫されている。 習得、活用、探究の様々な段階において、算数的活動を積極的に扱っており、数理的な処理のよさや、算数を学び、広げ、深める楽しさが実感できるようになっている。 各単元のまとめには、4コマ漫画で楽しく学習内容を振り返ったり、空欄に文字や数字を入れながら考えたりするなど基礎的・基本的な知識の定着に向けて工夫されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「学びの手引き」では、作図技能について、必要な学年で繰り返し掲載されており、確実に習得できるよう工夫されている。 全学年に「算数ワールド」が掲載されており、子どもが取り組んでみたくなるような楽しいテーマで、算数への関心が高まるような配慮がなされている。 2年から5年巻末の「ステップアップ算数」では、「きほんの問題」から「レベルアップ問題」に進めるように構成されており、子どもの理解の程度に応じて習熟を図れるようになっている。また、フィードバックのページを示し、自分で振り返ることができるよう配慮されている。 単元の中の「はってん」や「算数ワールド」では、発展問題を提示し、学習内容に関連づけて学べるように工夫されている。 						
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 習熟のために反復練習が必要な単元は、学年の早い時期に扱うようになっている。 計算単元の間には図形単元をはさむなど、学習の負担にならないような配慮がなされている。 棒グラフや折れ線グラフ、概数など、他教科等でも活用する学習は、指導時期を早めている。 「学びの手引き」（3～6年巻頭）では、前学年までの考え方を振り返ることができるように配慮されている。 基礎基本の内容と選択的に扱う内容の区分けを明確にし、指導時間数の中で、基礎的・基本的な内容を丁寧に扱い、学習内容の確実な理解を図れるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> 1年生からノート指導のページがあり、全学年でノートの書き方指導ができるよう配慮されている。 巻末にある「ステップアップ算数」の最初のページには、昭和10年ごろに使われていた教科書に載っていた問題や「家庭学習のヒント」があり、算数の問題に関心をもったり、家庭学習に活用したりできるように配慮されている。 高学年は、学年1冊の合本となっており、前学年までの学習内容をまとめた「学びのマップ」が掲載されており、わからない箇所があれば子どもが自ら既習事項に戻って確認できるようになっている。 						

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 新興出版社 啓林館	
算数138 わくわく さんすう1	算数238・239 わくわく算数 2上・2下	算数338・339 わくわく算数 3上・3下	算数438・439 わくわく算数 4上・4下	算数538 わくわく算数 5	算数638 わくわく算数 6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るために、発達や学年の発達段階に応じたスパイラルな教育活動が編成されている。 ・学習後の練習問題を、基礎的な内容と応用的な内容に区別して取り組ませることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が図れるよう工夫されている。 ・巻末の算数資料集「算数でよく使う考え方」では「にている」「きまり」「もどる」をキーワードにして児童が身に付けておきたい考え方を紹介し、筋道立てた考え方につながるような配慮がなされている。 ・2年以上の学年に「わくわく算数学習」の単元を設け、考え方の手がかりや問題解決に役立つ考え方を取り上げたり、問題解決の道筋を分かりやすく示したりしてあり、論理的な思考力や表現力を身に付けられるよう工夫されている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「おたすけ」マークが示され、児童が問題解決をするときの思考のヒントとなるよう工夫されている。 ・■一斉問題、△個々の問題、○練習問題のステップで習熟することにより、児童の理解がより確かなものになるよう配慮されている。 ・単元末の「たしかめましょう」には、フィードバックのページが示され、自分で振り返りながら学習できるよう配慮されている。 ・巻末の「発見！算数島」では、学習したことを活用したり、さらに練習問題に取り組んだりできるよう工夫されている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・領域のバランス、児童の負担の軽減や習熟期間を考慮した単元の指導時期の設定や配列がなされている。 ・新しい学習内容に入る前に準備問題があり、前学年までの既習内容を復習することで、新しい学習へのスムーズな導入ができるよう工夫されている。 ・1時間の内容が1ページまたは2ページで構成され、学習内容が見渡せるよう配慮されている。 ・目次に前学年とのつながりが明示され、系統性をもって学習に取り組めるよう配慮されている。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 5, 6学年が合冊となり、1年間を見通したり振り返ったりできるようになっている。 ・2年生以上の「学習の進め方」では、どのように算数に取り組んでいくかが示され、主体的な学習態度が身に付けられるようになっている。 ・文章を読む困難さを軽減させるよう、当該学年以上で学習する漢字には、ルビが振られている。 ・巻末の「わかりやすく説明しよう」では、説明するときに用いるとよい言葉についてふれ、説明する力の向上が図れるようになっている。 ・各学年の巻頭に「保護者の方へ」では、当該学年で身に付けさせたい力やその学習内容について丁寧に書かれている。 						

						種 目	算 数
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年		
算数140 しょうがくさん すう1ねん	算数240・241 小学算数 2年上・2年下	算数340・341 小学算数 3年上・3年下	算数440・441 小学算数 4年上・4年下	算数540・541 小学算数 5年上・5年下	算数640・641 小学算数 6年上・6年下	日本文教出版 株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近な生活場面から多くの問題を取り上げ、数理的な処理のよさが感じられるように工夫されている。 ・単元前には「次の学習のために」が設けられ、既習事項の確認ができるようになっている。 ・単元後半には「いち・に・算活」を設け、習得した知識や技能を積極的に生かす算数的活動を取り入れている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズはA B版を採用し、横長になった紙面の側注を生かして問題の解決が進められるように工夫されている。 ・基礎的・基本的なものに重点をおいたため、「直後の練習」や単元末の「たしかめポイント」の問題は、本文の問題と同程度の内容で構成されている。 ・「たしかめポイント」では各問題にフィードバックのページを提示したり、巻末の「算数マイトライ」では解答を提示したりして、子どもたちに自己評価を促す工夫をしている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、同じ内容が長い期間続かないように単元を分散的に構成している。また、高学年は、学習効果や効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。 ・習熟に時間を要する内容は、できるだけ早期に学習するような配列になっている。 ・基礎的・基本的な内容が確実に習得できるように、2～3単元毎に「復習」、学年の終わりに「学年のまとめ」、巻末に既習の内容をいかして発展的に考える「活用」や学習状況や学級の実態に応じて扱うことのできる「算数マイトライ」が設けられている。また、その問題の量も適当である。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・上巻末に算数の学び方の手順が分かる「学び方ガイド」が掲載されている。その裏面には、自分の考えを表現したり、わかりやすく説明したりするための指針となる「算数で使いたいことば・考え方」が設けられている。 ・上巻頭に「算数ノートをつくろう」を設け、結果だけでなく、考えた過程を言葉、数、式、図などを使って説明できるようにノートの書き方の事例を掲載している。 ・「よみとろうあらわそう」は、言葉、数、式、図など数学的な表現の相互関連を整理するような内容や、テープ図や数直線図のよみ方、かき方についても系統的に整理して扱っている。 					

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

理科

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
		理科 331 新しい理科 3	理科 431 新しい理科 4	理科 531 新しい理科 5	理科 631 新しい理科 6	東京書籍株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各学年で重点化された問題解決の能力を育成するために、問題解決の過程の中でも、特に予想を立てる場を重視し、児童が注目して取り組めるよう工夫されている。 学習した自然の事物・現象の性質や規則性が、自然界の中で実際に成り立っていることに気付くよう、「思い出そう」「説明しよう」では生活や社会に関連する身近な事象を取り上げている。 「話し合おう」というマークで言語活動を明確にし、話し合いや学び合うための理科の学習活動の習熟を図っている。 「理科のひろば」で自然や環境を大切にしようという内容を取り上げ、児童の自然や環境に対する興味・関心を高めている。 問題解決の活動から得られた概念を深められるよう、他の事象についても「理科の広場」の中で考えさせたり、実証性・客観性について考えさせる実験内容を提示したりするなどの配慮がなされている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 大きくわかりやすい図や写真が多く、効果的に絵や図を使い、実験の様子が学年に応じて理解しやすいよう工夫されている。 単元導入では、学習内容に関連した興味をひく絵や、日常生活によく見られる状況を写真にしたものを取り上げている。 単元末の「たしかめよう」に学習内容の確認や技能の定着を図る演習問題を設定している。 発展的な内容は「理科のひろば」の中で取り上げている。 単元扉など、導入段階で児童に身近な自然の事物・現象を提示し、児童自らが問題を見つけ、主体的に観察・実験に取り組むことができるように配慮されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> 全学年同じ流れで学習が進められるよう手順がフローチャート表示され、学習の流れが分かりやすく工夫されている。 単元の導入部に「思い出そう」を設け、既習の学習内容を元に、効果的に学習できるように配慮されている。 カラー写真などの学習素材を全国から集め、その中から地域の身近な資料として活用したり、他の地域と比較したりしてできるよう配慮している。 巻末資料に「算数の学習を活用しよう」を設け、算数科で学習したグラフの描き方や読み方、比例・反比例などを活用して、観察・実験の結果を整理したり、読み取ったりできるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会に関連する身近な事象を取り上げ、地球環境や環境保全に努める態度の育成が図れるように配慮されている。 幼虫のシルエットが現れるこすりだし印刷、こん虫切り紙（3年）、飛び出る人体模型（6年）、ぱらぱら漫画形式の資料（各学年）など楽しく学習できるように工夫されている。 ユニバーサルデザインフォントや文節で区切られた文章など見やすく読み間違えしにくい配慮がされている。 学習の基礎となるノートのとり方、話し合いの仕方、器具の使い方などが巻末の「理科の調べ方を身につけよう」にまとめられており、多様な場面で活用できるよう配慮されている。 					

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

種 目						理 科
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称						発 行 者 名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書 株式会社
		理科332 新版たのしい 理科3年	理科432 新版たのしい 理科4年	理科532 新版たのしい 理科5年	理科632 新版たのしい 理科6年	
観 点		調 査 の 結 果				
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 各学年で重点化された問題解決の能力の育成を踏まえた学習の仕方が巻頭に明示され、確実に身に付けられるよう配慮されている。 観察・実験の結果から、「話し合おう」「考えよう」「やってみよう」「べつの方法」などを示し、客観性のある科学概念を形成できよう配慮されている。 児童が自分の考えを伝え、友達の考えを聞き取るなどの話合いの場面を多く取り上げるなど、言語活動が十分に行われるように配慮されている。 				
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の説明では、低い学年では必要事項を図や絵で示し、学年が上がるにしたがって文字による説明が増えるなど発達の段階に考慮されている。 発展的な内容は、科学についての視野が広がるような読み物や実験が単元末に大きく取り上げられている。また、中学校理科とのつながりも意識できるよう工夫されている。 実験方法を丁寧に例示することで、児童が見通しをもって実験していけるよう配慮されている。 				
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「ふりかえろう」のページを設け、学習内容を再確認できるとともに、次の学年との系統性が分かるよう配慮されている。 6年生では、人間の生活と環境との関わりを意識しながら、1年間の学習ができるように構成が配慮されている。 観察・実験において、入手しやすい身近な素材を取り上げたり、季節の変化を捉えやすい写真を掲載したりしている。 				
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> 全ての学年で一冊となった。 AB版と教科書の幅が広く、余裕をもって誌面を使っている。 付録のシール、植物・動物シート（3年）、星座シート（4年）、メダカのおすとめすを見分ける写真（5年）などを配置し、児童が積極的に学習を進められるように工夫されている。 				

平成31年度使用（小学校）教科用図書調査研究報告書

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
		理科333 みんなと学ぶ 小学校理科3年	理科433 みんなと学ぶ 小学校理科4年	理科533 みんなと学ぶ 小学校理科5年	理科633 みんなと学ぶ 小学校理科6年	学校図書 株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「考えよう・調べよう」のページを設け、話し合い方、調べ方、記録の取り方、発表方法などが記載され、発達の段階に即し、計画的に進められるように配慮されている。 ・理科の学習活動を「見つけよう」「調べよう」「まとめよう」にわけ、その中で話し合いの方法、記録や発表方法を、3年生から計画的に進められるように配慮されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の終わりには、「まとめてみよう」「ふりかえってみよう」などの単元全体のまとめを行っている。また、高学年の長い単元では、途中にも「ふりかえってみよう」を設け、スモールステップで定着が図れるようになっている。 ・安全に対して配慮が必要な場面には、「注意」マークを付け、内容を赤字で記すことで注意を喚起できるようにしている。 ・生活に関連した「読み物」が、多く掲載されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・ページの端に、問題解決である「実験の計画」「実験」「結果」「考察」などの記載があり、学習の進め方が明確になるようになっている。 ・単元の最初に「思い出してみよう」のコーナーがあり、これまでに学習してきたこととのつながりが分かるようになっている。 ・豊富な写真や資料を用いて、地域教材の活用が困難な地域でも対応できるように配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・表紙や裏表紙に学習内容に関連する科学者の写真や言葉を掲載し、探究心を喚起させている。 ・裏表紙に定規が載っているので、外での観察や実験の途中でも長さを容易に計測することが出来る。 					

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
		理科334 未来をひらく 小学理科3	理科434 未来をひらく 小学理科4	理科534 未来をひらく 小学理科5	理科634 未来をひらく 小学理科6	教育出版 株式会社	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察をする際、イラストや吹き出しを用いて「問題」「予想しよう」の過程を丁寧に記載している。そして、自ら課題を見つけ、予想を立て実験計画や観察計画を立てることを重視し、問題解決学習ができるように配慮している。 ・「学んだことをつかおう」では、学んだことを使って新しいことを説明したり、ものづくりをしたりすることを通して、科学的な見方や考え方が深まるような工夫がされている。 ・考察の場面では、キャラクターの吹き出しで客観性のある結論が導き出せるよう工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・導入では、誰もが経験していそうな話題（現象）を取り上げたり、既習の学習から疑問を膨らませたりして問題を想起し、意欲的に問題解決学習ができるように扱われている。 ・予想を立てる時に話し合う活動を取り入れたり、結果や考察を自分の言葉でまとめたり話し合ったりできるように、表現力を高める配慮がなされている。 ・単元の終わりに「たしかめ」のコーナーを設けており、学習の理解度が確認できるように記載されている。 ・「資料」「科学のまど」では、学習内容に関連する実生活や過去の実験を示し、理科を学習する有用性を感じる内容が記載されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・3～6年では、単元の最初のページには他学年とのつながりが明記され、系統性を意識しながら学習できるように配慮されている。また、4～6年では、「〇年で学んだこと」を随所に設け、既習の学習内容を振り返りながら学習が進められるよう配慮されている。 ・巻頭の「学習の順序」「〇年の学び方」を示すことにより、科学的な思考力をつけるための工夫がされている。 ・実験や観察の準備物が細かく書かれていて、教材研究する教師側も、準備する児童側も把握しやすい。さらに、試薬や水溶液などの作り方の説明もあり、丁寧にかけられている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題が一目見て分かりやすいように、字の大きさ・枠の色などを工夫したり、キャラクターを用いて導入・まとめの仕方の方向性を示したりしている。 ・図が大きく、きれいなカラー刷りで分かりやすい。「資料」として必要な情報が図に添えられており、科学の知識が増えるよう内容に工夫がされている。 ・「わたしの研究」では、各学年の学習内容に関連した理科研究の進め方を紹介しており、興味をもった内容のさらなる研究を喚起している。 					

教科用図書の記号・番号・名称						種目	理科
1年	2年	3年	4年	5年	6年	発行者名	
		理科336, 337 わくわく理科3 わくわく理科 プラス3	理科436, 437 わくわく理科4 わくわく理科 プラス4	理科536, 537 わくわく理科5 わくわく理科 プラス5	理科636, 637 わくわく理科6 わくわく理科 プラス6	株式会社 新興出版社 啓林館	
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決能力を育成するために内容を精選し、単元の導入から、予想や実験方法、結果、考察、まとめなどが一連の流れになっていて、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ・観察・実験の予想・計画、考察の場面では適宜「話し合い」を設け、具体的な発問を例示するなど工夫されている。 ・実験や観察をした後すぐにまとめるのではなく、実験結果からなぜそうなるのかをよく考察し、その後まとめているので、理解を深めることができるようになっている。 ・「力だめし」のコーナーは身近な話題が多く、実験結果を実感できる場となっている。 ・地球環境を考える機会を与え、地球を守ろうという意識を高めている。 ・観察・実験の結果とその結果からわかったことの違いを明確にすることに配慮されている。また、新たな疑問をもてるよう学習内容の順序に考慮しながら、再現性・客観性のある実験へと発展させ、科学的な概念を形成できるよう配慮されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習では、予想や方法などがキャラクターのふき出しなどに書いてあり、自分たちで主体的に取り組むためのヒントとなっている。 ・「理科の広場」が多く記載され、児童の興味や関心を高めている。また、主体的な活動を促すことができるようになっている。 ・発展的な内容は、児童が興味を示すような資料や実験を多く取り上げ、方法や解説が詳しく掲載されている。 ・「ひろげよう」では緑のカーテンやメガソーラーで環境教育、天文台で働く人、消防署で働く人などキャリア教育を意識しており、また理科と社会生活を関連させている点に興味深い。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習の参考になる「地域資料」は量が大変多く、とても充実している。北海道や関東地方というように、地区ごとに分けられていて興味深い。 ・どの学年も3領域をバランスよく配置し、発達段階に合わせた分量になっている。生きものの教材は春から夏にかけて配置し学習しやすくするとともに、地域の特性も考慮している。 ・各単元で学習したことを「まとめよう」のページでは自分でまとめることにより、理解を深めることができるようになっている。 ・「理科につながる算数のまど」のページで、観察・実験の結果を処理する方法が分かりやすくまとめられており、算数科と関連して学習が進められるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく理科プラス」は、既習の内容に目を向けたり、学習のまとめと思考力の育成を図ったりできるように工夫されている補助教材である。 ・児童の記録例を多く掲載し、自分の考えを予想や考察で、図を用いて表したり、科学的用語を使って、表現したりする、活動を促すよう配慮されている。 ・必要性の高い重要な写真や資料を上手く配置し、思考がつながりやすいように工夫されている。 ・基本的な器具の扱い方などが大きく丁寧に載っている。既習事項の器具の取扱い方を振り返るページも掲載されているため、技能の定着が図られやすい。 					

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

生 活

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		東京書籍株式会社	
生活101 あたらしい せいかつ 上		生活101 あたらしい せいかつ 下	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して内容の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 入学期の児童が無理なく学校生活を始められ、また、生き生きと活動できるように「すたあとぶっく」が設けられており、学校生活や学習での一日の流れがイメージできるようになっている。 ② 自分でできることを考え、家庭生活で実践しようとする意欲を高める単元となっている。 ③ 地域探検など、地域の人々や様々な場所と繰り返し関わる活動を通して、地域への親しみや交流を深めながら、新しい気付きや自分の生活との関わりを理解することのできる内容になっている。 ④ 家族で通学路の安全を確かめたり、災害発生時の行動について確認したりする活動が設けられ、防災・安全に関する配慮がなされている。また、施設の様子、利用の仕方、働いている人々や利用している人々について学ぶ施設として、図書館を取り上げている。 ⑤ 身近な人々や自然に具体的に関わることができる内容となっている。上巻では、各季節の自然や遊び、生活、交流など、季節を十分に味わえる構成になっている。下巻でも自然や地域の行事などに目を向ける工夫がされている。 ⑥ 児童の興味・関心が広がり、主体的な活動や交流が行えるよう、季節の単元では、児童にとって身近な自然の遊びを取り扱っている。身近な素材からおもちゃを作り、友達と交流する中で工夫して遊ぶ楽しさを味わえるような内容になっている。 ⑦ 上下巻を通して、草花や野菜の栽培、身近な生き物の飼育について扱っており、次のステップへとつながる科学的な見方や考え方の基礎を養うことのできる内容となっている。 ⑧ 学習活動を通して、自立の基礎を養えるよう、生活上に必要な習慣や技能を身につけるための「やくそく」を設け、自主自立を促す内容になっている。 ⑨ 家族や身近な人々からの愛情や期待を実感したり、人のかかわりの中で自分の成長に気付いたりすることができる内容になっている。 諸活動の振り返りや、気付きを新聞やパンフレットなど多様な方法で表現する言語活動が充実している。 児童を取り巻く地域の環境について多様な場面を取り上げており、地域の実態に応じて指導できるように配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> 上巻のスタートカリキュラムである「1ねんせいになったよ」では、学校生活が円滑にスタートできるように、入学後間もない1年生への合科的な指導や、幼児教育との連携についても配慮されている。 児童の生活を教材とした学習ページになるように、大きな写真とイラストを多数掲載して、児童が学習への興味・関心を持てるように配慮されている。 上巻・下巻とも単元の後に「やってみよう」のコーナーを設けられており、学校や児童の状況に応じて発展的・選択的に活用し、学習をまとめたり深めたりすることができるように工夫されている。また、児童の思いや願いを大切にできる、身近で取り組みやすい活動や教材が取り上げられている。 学び方を身につけるための資料や、上巻の「ポケットずかん」や下巻の「べんりてちょう」など、活動の際に自ら調べたり、比べたりすることができる資料が豊富に掲載されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の実態に合った学習活動が展開できるように、活動のまとめりごとに単元を設け、その配列を組み替えられるようになっている。 季節の流れに沿って、低学年の活動が18の単元で構成されている。自然や人との関わりを系統的に扱うことで、四季の変化を意識しながら、生活や学習が進められるように工夫されている。特に植物の生長を一つの単元として、一貫して学習することができるように配慮されている。 上下巻とも、国語科や音楽科、図画工作科との関連が図られている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 上巻の最初に、小学校での生活をスムーズにスタートできるように、「すたあとぶっく」が設けられている。楽しい写真に前向きな言葉が添えられており、学校生活や学習に意欲が持てるよう配慮がなされている。 生き物や草花の観察時に使用することのできる「ポケットずかん」が上巻の巻末に付いている。1年生時には、そのままでも切り取ってでも使うことができ、また、2年生時には切り取って持ち運びができるようになっている。 栽培活動の単元では、幅の違う変形判ページが効果的に使われている。ページをめくりながら種まきから開花、結実と成長過程の変化や、種の種類による芽や花の違いなども一目でわかるようになっており、楽しみながら学ぶ工夫が設けられている。 自分のよさや可能性に気づいている姿が、挿絵や掲載作品に示され、児童が自己肯定感をもち、主体的に学習に取り組む態度を養えるように工夫されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 ・ 2 年		大日本図書株式会社	
生活103 たのしい せいかつ 上 なかよし		生活104 たのしい せいかつ 下 はっけん	
観点	調 査 の 結 果		
1 内 容 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下巻を通して内容「季節の変化と生活」「自然やものを使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 児童の思いや願いを把握し、児童の知的好奇心を刺激するような、問いかけや学習の流れを意識した内容となっている。 ② 地域と繰り返し関わることで、地域のよさに気付き、愛着がもてるように配慮されている。 ③ 地域を探検する内容が2回設けられており、内容や質が高められるようになっている。また、地域の人々との交流も、深められるような内容となっている。 ④ さまざまな人々が利用する施設でのマナーや、施設の利用の仕方を学ぶ場所として、公園を取り上げている。 ⑤ 季節の流れに沿って単元が展開されており、児童自身が身の回りの自然の変化に気付くことができるように配慮されている。また、自然を利用して体全体を使って遊ぶことで、自然に親しむことができるように配慮されている。 ⑥ 草花や木の実など身近なものを使った遊びを、写真や挿絵を掲載し、わかりやすく表現されている。児童が自ら想像し工夫できるようなヒントとなる内容となっている。 ⑦ 様々な草花や野菜が紹介され、栽培意欲を高める工夫がなされている。また、生き物や植物に対しての成長や不思議について、興味・関心を持たせることのできる内容となっている。 ⑧ 学校生活や地域において、友達と互いによいところを認め合い、自分のよさを感じる場面を設定することで、人々と交流することのよさを味わうことができるように工夫されている。 ⑨ 学習体験の中から、自然に自分の成長に気付くことのできる内容となっている。 ・ 町探検で気づいたことを絵にしたり、発表の際にクイズやポスターにししたりするなど、多様な言語活動が行われる。 		
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 い に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を構成するにあたり、児童の発達段階に応じて学習への意欲を持つことができるように考慮されている。特に、スタートカリキュラムである「みんななかよし」では、入学後の生活をイメージを広げられる内容となっている。 ・ 活動のヒントや危険防止、マナーにかかわる事項などは吹き出しとしてわかりやすく表現されており、児童が興味・関心を持って多様な活動をすることができるよう、そして、活動が広げられたり深められたりできるように、十分配慮されている。 ・ 上下各巻末を始め、活動場面の各所に資料的あるいは図鑑的なページ「がくしゅうどうぐばこ」等を掲載し、楽しく自発的に学習できるよう配慮されている。 ・ ひとつの読み物教材としても、児童が楽しく読み進めることができるようにストーリー性が重視され、話題や題材の創意・工夫が随所になされており、児童が大変分かりやすい内容になっている。 		
3 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動は季節を中心に単元が構成されている上、個々の活動単元の組み替えが容易にできるように工夫されている。また、児童の興味・関心呼び起こし、活動意欲をもたせるような関連教材を豊富に掲載し、選択しやすいように配慮されている。 ・ 季節の変化に合わせて、動植物の継続的飼育や栽培活動ができるように配慮されている。また、人と関わったり、自然と遊んだりできる体験活動ができるように配慮されている。児童の経験や興味・関心に応じ、楽しさにあふれた多様で実り多い活動ができるよう十分に配慮されている。 ・ 生活科の活動や体験が、他教科へ広がり発展すると共に、国語、算数、音楽、図画工作など他教科領域の学習成果が、生活科の活動に生きるよう相互の関連について十分配慮されている。 		
4 本 書 の 特 徴 点 に つ い て	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の流れを児童の意識に寄り添う言葉などで構成し、活動のイメージをもちやすくしている。 ・ 見開きページの右上部に木の葉のイラストを設け、そこに具体的な短文で課題の提示がなされ、児童に分かりやすく、課題意識を明確にもてるよう工夫されている。 ・ 見開きを縦方向に見る画面やモノクロ表現を使うことにより、イメージを膨らませるページを設けたり、透明シートを使用した仕掛けのあるページを設けたりと、まるで絵本のような大胆でおもしろい構成により、そのページをきっかけとして、児童の意欲的、積極的な活動を促すよう工夫されている。 ・ 自然災害の際には、低学年なりに自分の身を自分で守ることについても示され、安全を守る視点が配慮されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 ・ 2 年		学校図書株式会社	
生活105 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上		生活106 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	
観点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して内容全体が「季節の変化と生活」「自然やものを使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標・内容に適合している。 ① 内容が「探検単元」「遊び単元」「栽培単元」「飼育単元」「成長単元」の5つの単元で構成され、指導しやすい単元構成になっている。また、活動内容や流れが、臨場感溢れる写真や魅力的な挿絵で、分かりやすく表現されている。 ② 家の中で自分ができることに挑戦していく中で、家族の笑顔に気付かせる内容となっている。 ③ 下巻では、町探検の単元はもとより、地域の祭りや行事の具体例を示すことで、自分の地域に目を向け、自分の地域を生かした活動に結びつくよう配慮されている。 ④ 公共施設での利用の仕方や、マナーを学ぶと共に、施設を支える人々がいることに気付かせる内容になっている。 ⑤ 1年間を見通した継続的な活動を通して、自然に季節の変化に気付くことができるように配慮されている。 ⑥ 草花や木の実、身近なものを使ったおもちゃが豊富に掲載されており、児童が主体的に作ったり、遊んだりできる内容となっている。 ⑦ 栽培では、多様な野菜やアサガオなどの栽培を扱っており、準備や世話の仕方が詳しく紹介されている。また、飼育でも、生き物の世話の仕方がわかりやすく紹介されている。また、「なぜ」や「どうして」という疑問を大切に扱い、科学的な見方や考え方の基礎を養うことのできる内容となっている。 ⑧ 町探検の後で、発表会を開いたり、お礼に出かけたりと、地域の人々とのつながりが持てるような内容となっている。 ⑨ 自分の成長を振り返り、これからの生活に意欲が高められるような内容となっている。 自然とのふれあいや町探検の音を擬態語で表現したり、インタビューをしたりするなど、多様な言語活動が行われるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 単元を構成するにあたり活動の場所や活動内容が、児童の発達段階を踏まえて、広がりや深みのあるものに変化するよう工夫されている。 リード文は児童の自発的な言葉をもとにしており、吹き出しなども、子どもが自分からやってみたいと思えるよう興味・関心を引くような工夫がなされている。 単元の途中に「ものしりノート」や「チャレンジずかん」が配置されている。素材や教材が複数提示され、多様な自由な活動ができるように配慮されている。 上下各巻末に「学び方図鑑」を配し、話す・聞くなどの学習のスキルを学ぶだけでなく、季節の生きもの図鑑にもなっており、子どもが主体的に学習したり、自分で活動を広めたりすることができるように配慮されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 活動の場が1年生時は学校や学校の周辺、2年生時は地域へと広がるように配慮されている。「探検単元」では1年が学校、2年は町、「飼育単元」では1年は身近な生きもの、2年は自分の決めた生きもの、「遊び単元」では1年生は自然を利用した遊び、2年は動くおもちゃ作りのように内容的にも深まっている。 時系列的に活動時期を固定するのではなく、地域や学校・子どもの実態に応じて、学習時期を組み替えるなど、軽重を付けて指導することができるように工夫されている。学習内容を精選し、ゆとりを持った活動が展開できるように配慮されている。 生活科の活動や体験が、他教科へ広がり発展すると共に、国語、算数、音楽、図画工作など他教科領域の学習成果が生活科の活動に生きるよう相互の関連について十分配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 上巻のはじめに「1ねんせいになったよ」と「がっこうたんけん」の単元を設け、児童が学校生活にスムーズに対応できるよう、スタートカリキュラムとして明確に位置づけられている。 下巻の観音開きページには、たくさんの生きものの躍動感に溢れた美しいイラストが書かれており、写実的で見ごたえがあり、子どもたちの活動意欲を引き出す工夫がなされている。 全巻を通して、身近な人々と伝え合う活動については、4人の子どものキャラクターを設定し、その4人のつづやきが、児童の気づきの質を高めることができる。同時に、友達同士のコミュニケーションを大切にし、活発な言語活動が行えるように配慮されている。 防災については、上下巻で触れられており、「いかのおすし」について掲載し、犯罪から自分の身を守るだけでなく、地震や津波などの自然災害にも配慮されている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 年		教育出版株式会社	
生活137 せいかつ上 みんな なかよし		生活138 せいかつ下 なかよし ひろがれ	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標、内容に適合している。 ① スタートカリキュラムや学校探検、町探検などの単元の中で、写真を多用し自分たちと比較しながら分かりやすく学べる内容になっている。 ② 家族と触れ合っている様々な写真を多用し、家族に感謝したり、家族の役割や自分でできることを考えたりする活動を通して、家族の笑顔が増えていくことを実感できる内容になっている。 ③ 探検活動を2回行うことで、ステップアップした探検活動ができるように構成を工夫している。 ④ 同じ町並みの挿絵で、季節の違いや変わっていく町の様子を比較しながら興味関心を喚起し、自主的な探検活動ができるように工夫されている。 ⑤ 季節の違う公園(定点観察)の挿絵を意識的に使用し、季節の変化や人々の様子などの気付きの質を高めるよう工夫されている。 ⑥ 簡単に作れるおもちゃやその材料を紹介している。良く動くように工夫しようとする意欲を高める構成になっている。 ⑦ 自然にいる生き物の成長過程や植物の成長過程を写真で紹介し、児童の興味を引く内容となっている。 ⑧ 全単元に渡り、身近な人々との双方向の交流活動が設定されている。交流活動を通して学習が深まっていくように活動が工夫されている。 ⑨ 上巻では、1年間を振り返る単元で、下巻では成長を振り返る単元で扱われている。自分の成長を調べ、自己肯定感をもてるような内容になっている。 全単元にわたり、友達や保護者、地域の人々との双方向の交流活動が設定されており、交流を通して学習が高まっていくように活動が工夫されている。また、単元の最初には、「おしゃべりタイム」が設けられ、自分の思いや願い、気付きを言葉や身体表現を使って伝え合うことができるよう工夫されている。 児童を取り巻く身近な環境を設定し、地域の実態に応じて活動できるように配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 上巻は1年生、下巻は2年生用に構成され、発達段階に沿って児童の興味関心や行動範囲が広がるような構成になっている。スタートカリキュラムとして、幼稚園での生活と小学校生活の比較ができるようにイラストで示され、学校生活が円滑に始められるように工夫されている。下巻最後の単元では、次学年の学習に関する写真が提示され、進級への配慮がなされている。 児童の生活の中から素材を取り上げている。児童が親しみをもち、興味をもてるように配慮されている。 上下巻ともに「はっけんひんと」コーナーを随所に、「ぐんぐんポケット」を巻末に配置して、学習の補充ができるように配慮されている。「おうちでちやれんじ」マークで児童が学習したことを発展させる活動へ導くように構成されている。 「はっけんひんと」「ぐんぐんぼけつ」で学習のポイントや補充ができるように工夫されている。学習を振り返り、児童自ら考えを深めることができるよう工夫されている。 		
3 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 季節の流れに沿って大単元が構成されている。適切な単元配列構成が考えられ、活動展開が見通せるように配慮されている。目次には「月」が示され、活動の時期の目安となっている。 各単元の中で定点観察が取り入れられ、季節の移ろいが分かりやすく配列されている。探検活動でも探検を重ねるごとに、人々との関わりや地域理解が深まるよう工夫されている。「はってんコラム」により、中学年以降の社会科や理科の学習へとつながるように工夫されている。 各教科との合科的・関連的指導が図れるように、対象となる教科のマークが付されている。特にスタートカリキュラムの時期には効果的である。中学年以降の社会科や理科へつながる工夫として、はってんコラムが設けられている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動だけではなく、立体印刷を使った身体表現の活動を例示するなど、児童が表現方法を工夫できるように構成されている。 上巻では、自然の不思議さやおもしろさ、美しさなどの自然事象を大切にし、体験活動から科学的なものの考え方を学べる。下巻では、見通しをもつ、予測する、試行錯誤をするなどの活動を設定し、論理的な思考を育むことができるように工夫されている。 見開きページに右側にヒントや振り返り、左側には多種の植物の写真を掲載し、学習の手立てが見やすく配列されている。 単元と関連のある本が紹介されている。 安全教育について配慮されており、家や外での約束や災害時の過ごし方が示されている。 環境教育との関連が図られており、リデュース・リユース・リサイクルなどの説明がされている。 		

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		光村図書出版株式会社	
生活141 せいかつ上 みんな だいすき		生活142 せいかつ下 みんな だいすき	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」が重視されており、目標、内容に適合している。 ① 学校内の様子が見開きで描かれている。また、児童の様子や気づきが児童の言葉として表現されていることで、楽しい学校生活へのステップとなっている。 ② 家族の「にこにこ」をテーマに、「にこにこ」を増やすために自分にできることを意欲的に考えていける内容になっている。 ③ 「みんなで探検」から「グループで探検」へと活動を広げる内容になっている。地域の人々との触れ合いから、地域の素晴らしさに気付くことができるよう工夫されている。 ④ 探検活動をする中で、公園や公共施設にも自然に目を向けられるような内容になっている。 ⑤ 四季をまとめて単元構成をしている。四季折々の公園の様子を挿絵で表し、変化を分かりやすくしている。 ⑥ 身近な材料を集め、材料で遊ぶ活動を通しておもちゃ作りにつなげていく工夫がされている。 ⑦ 身近にいる生き物を写真で紹介し、飼育への意欲につなげている。草花や野菜を育てる一工夫も取り入れられている。 ⑧ 全単元に渡り、気づきや思考を児童の言葉で分かりやすく表している。 ⑨ 上巻では1年間を振り返り、2年生への明るい希望をもたせる内容になっている。下巻では、自分を振り返り、自分の成長に関わってくれた人々への感謝の気持ちをもてる内容になっている。 児童の発達段階や活動内容に合った多様な表現方法が例示されている。3段階構成の「ジャンプ」では、児童の気づきの質を高めたり、思考を促したりする言葉が、児童の言葉として示され、興味関心をもって楽しみながら取り組めるように配慮されている。 児童を取り巻く地域の環境について取り上げており、地域の実態に配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入である「ホップ」、活動の流れとポイントを分かりやすく示された「ステップ」、活動の振り返りや伝え合う交流活動の「ジャンプ」の3段階構成になっており、児童の思考の流れに沿って確かな力が付くように配慮されている。特にスタートカリキュラムに力を入れている。 意欲を喚起させるよう、大きな写真やイラストを使い、児童の生活や経験を活動と結び付ける呼びかけの言葉がある。 既習の単元が別の単元でも繰り返し示されている例がある。既習の体験や知識を次に生かし、定着が図れるように配慮されている。また、単元と関連の深い資料が単元末に、年間を通じて活用できる資料が巻末に位置付けられている。 低学年の児童にとって、身近でなじみやすい対象や、興味・関心を持ちやすい活動例が示され、児童が主体的に活動できるよう工夫されている。 		
3 分量について 組織・配列・	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は、花の栽培・自然と遊ぶ・虫などの飼育など、活動のまとめりと構成されている。ねらいと活動の流れがつかみやすいよう工夫されている。また、各学校や児童の実態に応じて指導計画が立てやすい配慮がされている。 大単元の内容が季節の流れに沿って配列され、指導内容の焦点を明確にしている。上下巻ともに巻末の「きせつのおくりもの」では、生き物の様子や定点観察での季節の流れに沿った町の様子を提示し、比較しながら学習できるように工夫されている。 生活科を核とした総合的・関連的な学習の充実が図れるよう他教科や道徳の時間などとのヒントが示されている。上下巻とも特に音楽科との関連が図られている。活動場面の写真上に文のない吹き出しがあり、そこに入る言葉を児童自身が考えることで、国語科の話す活動との関連に配慮されている。 		
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> オリジナルソングを導入し、歌に合わせてやり取りをしたり、歌詞を作ったりして活動を活発にすることができると。 安全上の注意や衛生上の配慮などは、「！」マークで明確に表記されている。 視点や活動を広げるヒントを「どうすれば、いいのかな」のコーナーで紹介している。 多様な言語活動の例を示したり、表現したものをさらに活用する例を取り上げたりしている。 1対1、手をつなぐ、目を合わせる、会話などさまざまな伝え合う活動が工夫されている。 教師の表情や立ち位置、児童とともにいる姿などが示され、実際の支援の様子をイメージすることができるように工夫されている。 		

			種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1・2年				株式会社 新興出版社啓林館
生活143 わくわく せいかつ上	生活144 せいかつ たんけんブック	生活145 いきいき せいかつ下		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「地域と生活」「季節の変化と生活」「動植物の飼育と栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標、内容に適合している。 ① 見開きページを効果的に使い、学校の様子を写真や挿絵で表し、探検に対する意欲を喚起するような内容になっている。 ② お手伝いや家族との触れ合いを通して、家族を笑顔にするために自分ができることを考えることができるように構成されている。 ③ 初夏の町と秋の町を探検する活動の中で、地域や身近な人々の素晴らしさに気付き、交流を深めることができるような内容になっている。 ④ 公園での活動や町探検の中で、公共施設や公共物を紹介している。写真や発見カードなどから公共施設の役割やマナー、安全を守ってくれていることなどに気付けるように構成されている。 ⑤ 校庭の四季を定点観察で表現して、四季の様子や人々の変化への気付きを促すように工夫されている。 ⑥ 身近な材料の特徴を写真で紹介し、その特性を生かした簡単なおもちゃを思考する一助となるように構成されている。 ⑦ 計画カードや発見カードを多く紹介したり、挿絵の子供たちのセリフで感動を表現したりすることで、気付きが深まるよう工夫されている。 ⑧ 全単元を通して、多様な方法を使った、気付いたことの伝え合いや発表などの様子を紹介している。 ⑨ 上巻ではできるようになったことから、一つ学年が上がることへの展望をもたせ、下巻では、自分の成長を振り返り、支えてくれた方々に感謝の気持ちをもてるように構成されている。 全単元を通して、「つたえあおう」という活動が設定されており、口頭での発表から劇やポスターを使用した発表会などの活動が、段階的に行われるよう、配慮されている。 児童を取り巻く地域の環境について取りあげており、地域の実態に配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムを重視し、挿絵を中心とした学校の様子を通して、学校が楽しい場であると実感できる展開にしている。動植物の写真が大きく明瞭に掲載されており、低学年の気付きの助けになっている。 児童の身近な生活から題材を取り上げられている。また、学習した内容を普段の生活に生かせるよう、「ありがとうのページ」が配置されている。また、巻末や別冊「たんけんブック」に子供の興味関心を促す資料が掲載されている。 ミニコーナーや「チャレンジ」マークにより、学習内容を補充させたり発展させたりする工夫がされている。 「できるかな」のコーナーでは、児童ができるようになったことをチェックできるようになっている。「いきいきずかん」のコーナーでは、自分で調べながら活動できるように配慮されている。 			
3 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも季節に沿って単元が構成されている。単元が進むにつれ、活動が広がり、深まっていくように配列されている。単元は「わくわく」導入、「いきいき」主たる活動、「つたえあおう」交流活動、「ちゃれんじ」広がり・深まりの4段階で構成されている。 中学年以降の「総合的な学習」にスムーズにつながっていくよう、具体的な活動や体験を通して主体的に協働して学習し、自ら考える力の基礎が養われるようになっていく工夫がされている。 他教科との関連や合科が図りやすい活動が紹介されている。社会科との関連では、絵で道順が示されている。算数科との関連では、時計を中心とした一日の流れが区切られた絵で示されている。活動が広がるよう工夫されている。巻末の「わくわくずかん」「いきいきずかん」は、調べ学習のポイントが分かりやすく示され、総合的な学習との関連が図られている。 			
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「わくわくずかん」「いきいきずかん」は、別冊「たんけんブック」と関連を分かりやすく表示している。また、「たんけんブック」は、穴あけ加工がされており、ひもを通して使用できるよう工夫がされている。 楽しいキャラクターや挿絵を活用し、必要な情報のみを都合よく配置している。特に上巻最初の単元は、イラストのみで構成されている。 活動例や学習対象が多様に紹介されているので、学校や地域、子供の実態に合わせて自由に選択できるように工夫されている。 多様な記録カードが紹介されている。特に発見カードには、記入例で五感による気付きを示せるようなマークが掲載されており、工夫されている。 			

		種 目	生 活
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 年		日本文教出版株式会社	
生活146 わたしと せいかつ上		生活147 わたしと せいかつ下	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻を通して、小観点の「季節の変化と生活」「自然や物を使った遊び」「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の交流」が重視されており、目標、内容に適合している。 ① スタートカリキュラムを初め、学校探検や町探検などの単元の中で、挿絵や写真を効果的に使って分かりやすく学べる内容になっている。 ② 夏休み単元や家族単元を設定し、感謝の気持ちをもたせながら、家族の役割や自分でできることを考えさせる内容になっている。 ③ 季節を感じながら様々な人々と触れ合っている写真などを多用し、楽しみながら学べる内容になっている。 ④ 簡単な地図や町の挿絵から、地域を探検したいという意欲を喚起し、地域の人々と触れ合ったり公共施設などを見学したりする活動ができるようになっている。 ⑤ 同じ公園が季節によって変化していく様子を、散歩をするという身近な活動から気付けるように工夫されている。 ⑥ 身近な材料でおもちゃを作ったり、遊んだりする活動を写真などで分かりやすく紹介され、自分で工夫する意欲ももてるように構成されている。 ⑦ 草花の成長する過程や、野菜を収穫した喜び、様々な生き物を写真や挿絵で紹介し、身近な自然に興味もてる内容になっている。 ⑧ 各単元に発見カードや困ったよカードなど多様なカードが掲載されている。また、各単元において、活動に適した伝え合いや交流の場が例示されている。 ⑨ 上巻では、振り返り単元で、下巻では成長単元で扱われている。自分の成長を知り、支えてくれた人々への感謝の気持ちをもてるように工夫されている。 作業カードの種類が豊富で、多様な言語活動が行われるように配慮されている。また、夏休み前後に小単元を設定し、それぞれの児童が異なる体験をしたことを伝え合うなどの交流活動、表現活動を新設された。 児童を取り巻く身近な環境を設定し、地域の実態に応じて活動できるように配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱	<ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラムを取り入れ、学校での生活の様子や流れを分かりやすくイラストで紹介されている。発達段階に配慮した発見カードを掲載し、気付きの質を高める一助としている。 なんでもずかんが上下巻の巻末に設けられており、その中で児童が興味関心を広げることができるように工夫されている。 各単元の最後には、学習したことを生かしてさらに取り組める活動の例が示され、補充的・発展的な学習について配慮されている。 気付きや活動のきっかけになるような「カード」が多様に掲載され、児童が自ら学習を深められるように工夫されている。 		
3 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 上巻ではスタートカリキュラムにより、学校生活へのスムーズな適応を促し、学校を中心とした活動を行う単元構成になっている。下巻では、学校から地域へと広がっていく単元構成になっている。 季節ごとのさんぽを通して、定点観察方式で地域社会の様子の変化や自然の様子の変化をとらえ、活動の深まりを促す構成になっている。 用具の使い方の説明など、他教科との関連的・合科的指導が工夫できるような内容となっている。 		
4 本書の特徴点	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも、それぞれの主人公を設定し、主人公の成長を読み取ることができるようになっている。子供たちが感情移入しやすい工夫がされている。 マークの色により、ワンポイントアドバイス、安全・ルール・マナー、活動のバリエーションを提示し、児童にも分かりやすく構成している。 幼児や高齢者、障害のある方など様々な人々との触れ合いや関わりを重視し、全単元の中で関わるよう配慮されている。実物の点字や町の中での様々なマークなどが掲載され、福祉教育との関連も図られている。 「きせつだより」で日本各地、外国の自然の様子や祭りなどの伝統行事が紹介され、自分の地域との比較がしやすいように工夫されている。 		

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

音楽

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	音 楽
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育出版 株式会社	
音楽のおくりもの1	音楽のおくりもの12	音楽のおくりもの3	音楽のおくりもの4	音楽のおくりもの5	音楽のおくりもの6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞を関わせた多様な音楽活動ができるよう配慮され、児童自らが音楽のよさや面白さ、美しさに気付く、主体的に音楽を学ぶ喜びを味わえるよう工夫されている。 ・【共通事項】をページの右端に掲載し、常に音楽活動のもとを意識した活動ができるよう配慮されていることなど、表現や鑑賞の各活動から感じ取れる要素について、相互に関連させて学習に生かせるよう配慮されている。 ・表現や鑑賞の各活動から、楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったこと、自分の思いを伝えられるよう配慮されている。巻末には、「音楽を表わすいろいろな言葉」として、多くの例や音楽を表わす言葉を増やし、言語活動に生かせるような場の設定がされている。 					
2 程度・選択・取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に分かりやすいマークや色が用いられ、低・中・高学年の発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう、題材構成や表記の仕方について配慮されている。 ・映画の主題歌など、児童にとって魅力のある教材が取り上げられ、音楽の美しさを感じ取れる学習活動ができるよう配慮されている。 ・発展的な学習内容については、マークで明記され、児童の興味・関心や教材との関連に配慮した扱いとなっており、児童の実態に合わせ、既習事項を生かした発展的な音楽活動ができるよう配慮されている。 ・各学年ともに題材名、題材目標などが示されている。また、「音楽のもと」「前の学習を思い出そう」など、学習のヒントを示すマークが設定されており、児童が主体的に活動できるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ともに一つの題材について表現や鑑賞の活動を取り入れるよう構成されている。 ・各学年・領域間との系統性をもたせた設定がなされている。学習指導要領の目標や内容に対応し、中学校音楽との系統性や連続性を意識しながら、2学年ごとのまとまりを意識できるように関連が図られている。 ・学習した内容が、生活や他教科等と関連付けて活用できるよう、日本の文化や行事の写真、地図を掲載し、他教科、他領域の中で活用できるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点について		<ul style="list-style-type: none"> ・児童のイメージを喚起するイラストや写真が豊富に掲載され、透明シートや両開きの折り込みページなどが効果的に配置され、児童の想像力を豊かに育てる学習を展開したり、楽典を楽しく分かりやすく学ばせたりすることができるよう配慮されている。 ・様々な国やジャンル、演奏形態の音楽が取り上げられており、音楽への関心を高め、親しもうとする心情を育てることができるような配慮がされている。 ・手話や振り付けのある全校合唱曲が掲載され、学校行事等で楽しく活用できるよう配慮されている。 ・4年生以上は、表紙の裏に世界的な音楽家のプロフィールやメッセージが掲載され、児童が音楽とのすばらしい出会いを感じ取ることができるよう配慮されている。 ・4年生以上では、「スキルアップ」で、ハンドクラップや早口言葉、ボディサウンド等、楽しみながら歌声とリズムのトレーニングができるよう、独自の教材開発がなされている。 ・学習の振り返りや資料等へのリンクを表すマークが明示しており、巻末折込に資料が豊富に掲載され、資料の活用により着実に基礎・基本が身に付くように配慮されている。 ・専門的な知識がある指導者が指導しやすい内容となっている。 					

						種 目	音 楽
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	教育芸術社	
音楽132 小学生の おんがく1	音楽232 小学生の 音楽2	音楽332 小学生の 音楽3	音楽432 小学生の 音楽4	音楽532 小学生の 音楽5	音楽632 小学生の 音楽6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> ・表現と鑑賞の各活動において、児童が主体的に多様な音楽に取り組めるように配慮されている。 ・多様な音楽活動を通して、児童自らが音楽のよさや面白さ、美しさに気づき、主体的に音楽を学ぶ喜びを味わえるよう工夫されている。 ・各学年の音楽づくりにおいて、友達と関わり合いながら主体的に楽しく活動できるように工夫されている。 ・鑑賞では、楽曲を聴いて感じ取る手立てとなる言葉を用いて曲の解説をし、話し合いがしやすいように配慮されている。 ・表現や鑑賞の各活動から感じ取れる音楽をつくっている要素について、具体的にどのような学習内容に活用するのかを示すことにより、「共通事項」を意識した学習の手助けになるように工夫されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> ・低・中・高学年の発達の段階を踏まえて、児童の基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られるよう、題材構成や表記の仕方について配慮され、活動の手順が簡潔に示されている。 ・児童にとって魅力ある教材が取り上げられ、音楽の楽しさを感じ取れる学習活動ができるように配慮されている。 ・キャラクター「ダン」の吹き出しの言葉により、具体的な学習の流れやヒントを示し、児童が主体的・発展的活動できるように配慮されている。 ・歌唱や演奏の技能については、発達の段階を考慮した無理のないステップが踏まれている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽づくり」の活動では、題材のねらいに即して、表現（歌唱・器楽・音楽づくり）と鑑賞の関連が図られるよう構成されている。 ・学習指導要領の目標や内容に対応し、2学年ごとのまとまりを意識しつつ、系統性をもたせて展開できるよう配慮されている。 ・発達の段階に応じて幅広いジャンルの音楽と出会うよう配慮されている。 ・「音楽づくり」の活動では、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるよう配慮されている。 ・世界の音楽や文化を扱った教材、自然や社会、インターネットの活用（3年生以上）を取り入れるなど、学習内容が生活や他教科等と関連付けて活用できるよう配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材を「こころのうた」として提示し、説明文や情景写真を掲載することにより、日本の自然や四季の美しさを味わい、感受性を働かせながら歌えるよう配慮されている。 ・我が国の郷土を愛する心を育成することができるよう「歌いつごう日本の歌」で、古くから親しまれている日本の歌を紹介したり、裏表紙に「祭りと楽器」の写真を掲載したりして、日本の音楽がより身近に感じられるよう配慮されている。 ・3～6年巻頭の「音楽プリズム」では、児童が音や音楽のもつ力について興味をもつことができる。「鑑賞教材」では、郷土の音楽や民謡、日本の器楽を数多く写真で紹介し、日本の伝統音楽への理解を深められるよう配慮されている。 ・巻末に「音楽の歴史をつくった人」として、日本や世界の作曲家を紹介し、児童の音楽へ興味・関心を高め、知識を深められるよう配慮されている。 ・音楽専門の指導者ではなくても、指導しやすい内容になっている。 					

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

図画工作

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	図画工作		
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	開隆堂 出版株式会社			
図工131 ずがこうさく 1・2上 わくわくするね	図工132 ずがこうさく 1・2下 みいんなおいでよ	図工331 図画工作 3・4上 できたらいいな	図工332 図画工作3・4下 思いをこめて	図工531 図画工作5・6上 心をつないで	図工532 図画工作5・6下 夢を広げて				
観 点		調 査 の 結 果							
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 発達の段階に応じて、題材が系統的に配列されている。「造形遊び」「絵」「立体」「工作」の各領域のバランスについても細かく配慮されており、使用する道具や材料もふさわしいものが見やすく示されている。また、作り方が分かりやすく提示してあるので、教師も児童も安心して取り組むことができる。 各題材で育てたい能力がページ最上部に目立つように端的に示されており、教師も児童も導入時に見通しをもちやすい。また、振り返りのポイントを観点ごとに示し、評価にも役に立つページ構成になっている。 鑑賞において、言語活動が充実できるような、着眼点が多く表記してある。児童が主体的に鑑賞できるように工夫されている。 [共通事項]への配慮がなされ、各題材に示された活動の振り返りにおいて「色」や「形」に着目できるように工夫されている。 							
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技法や材料、安全事項、製作手順などを同色の枠で囲んで示し児童が活動を進めていく上での配慮がなされている。掲示の仕方や片づけについても示してあり、参考になる。 巻末の「道具箱」では、注意を促す言葉やマークが示されており、安全に表現活動ができるよう配慮されている。また、「パレットコーナー」では、基礎的・基本的な知識や技法が絵や写真などで分かりやすく示してある。 「みんなのギャラリー」のページを設け、地域の取り組みや伝統美術について触れることにより、社会に関わりながら生きる態度の育成を目指す工夫をしている。 							
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 地域、学校や児童の実態に応じて、活動を選択できるよう、選択題材が配られている学年がある。「造形遊び」を展開しやすいように気候や活動場所などを変えた展開も提案してある。 児童が日常生活の中で活用できるような題材が、各学年に配置されており、1・2年では、就学前の体験や生活科の学習を生かして取り組める活動を設定するなど配慮されている。また、高学年においては中学校で生かされるような内容を扱っている。 A4 サイズで見やすく、ページのスペースが広がった分、より多くの情報を紙面に取り入れられている。特に参考作品の写真が充実しており、例が多く示されている分、これから製作する作品をイメージしやすい。 							
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> 表紙の題字が造形的であり、裏表紙も子供の興味を呼ぶものが多い。その教科書で扱う技法を使って題字がつけられていることも興味深い。 教科書の裏表紙に魅力ある写真が多数掲載され、スペースが有効活用されている。教科書を手にとって見たくなるような工夫がされているといえる。 目次の欄に主な用具・材料が載っているの、分かりやすい。 色は教科書にとって重要な要素であるが、カラーユニバーサル機構認証マークが示され、色覚の個人差に対応する配慮がなされていることがわかる。 							

			種 目	図画工作
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年 2年	2年 4年	5年 6年	日本文教出版 株式会社	
図工133・134 ずがこうさく1・2 上下 たのしいな おもしろいな	図工333・334 図画工作3・4 上下 見つけたよ ためたしよ	図工533・534 図画工作5・6 上下 見つめて 広げて		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標を踏まえ、各題材に学習のめあてが明確に4観点で示されている。重点的なめあてにはアンダーラインが引かれ、題材の導入時には児童に見通しを立てさせるのに役立つ。 「鑑賞」を重視し、「教科書美術館」や「図画工作の広がり」のページを設けて、「国際理解」「伝統文化」「福祉」「人権」等と関連させた作品を紹介しており、図画工作科の目指す豊かな人格形成への配慮が十分に見られる。 言語活動の充実への配慮が見られ、活動の中から自然に言葉が生まれてくるためのヒントが意図的に示されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各学年とも作品例には、作者の作品に対する思いが添付されており、そこから発想や構想につながるよう工夫されている。 巻末の数ページに「ぞうけいのもり」「材料と道具」のページが位置づけられており、各学年で系統立てて扱いやすい。特に「材料と用具」については学年で重点的に扱うものについてポイントを捉えやすく児童が自ら学べるような構成になっている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 「きをつけよう」「かたづけ」のコーナーが題材によって設定され、安全や環境について配慮すべきことがわかりやすい言葉で示されている。 どの学校でも取り扱えるような、題材や材料を幅広く紹介している。屋内や屋外で活動ができるよう配慮されている。また、季節や身近な自然素材に目を向けるような題材も設定されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 一題材を見開きで2ページ使って扱っており、題材の特徴を指導者が理解しやすく、児童にとっても参考となる内容が多く盛り込まれている。題材のページ構成が一定なので、迷いなく使用することができる。 児童が生き生きと活動する写真を用いたりして、ヒントとなるコメントを多く掲載するなど意欲をもって活動できる工夫がされている。 少ない時数で実施できる多くの題材が扱われている。そのためページ数は多いが、開いたページが閉じにくい構造になっているなど工夫され、使いやすさが生まれている。 児童の参考作品の質が高く、発想豊かで美しい色合いの作品が多数掲載されているので、児童の創作意欲を高めることにつながる。 			

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

家庭

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	家 庭
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍株式会社	
				家庭531 新しい家庭 5・6	家庭531 新しい家庭 5・6		
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の発達段階や実態に応じて内容が段階的に取り扱われている。単元の導入において意欲を高め、児童が興味をもって学習に取り組めるような内容となっている。 ・ 「家庭生活と家族」の内容では、ガイダンスの学習を生かして自分の目標や課題を見つけ、見通しをもって学習に取り組めるようになってきている。家族の一員として自分にできることを見つけたり、2学年間の学習のまとめとしてお世話になった人に感謝の気持ちが伝えられたりできるように配慮されている。 ・ 「日常の食事と調理の基礎」の内容では、第5学年でゆでる調理、ご飯味噌汁の調理、第6学年で炒める調理が設定され、段階ごとに基礎的基本的な内容が身につけられるように設定されている。また、第5学年で五大栄養素の学習を行い、第6学年で栄養のバランスや食事の働きが扱われている。「調理の技能」「朝ごはん」「栄養」「共食」を丁寧に扱い、食育を重視し食の内容が系統的に繰り返し学習できるように配慮されている。 ・ 「快適な衣服と住まい」の内容では、基礎的・基本的な技能を身につけ、第5学年で生活に役立つものを製作し、第6学年では工夫を生かした製作が出来るような配列になっている。住まい方では物の使いやすさから季節に合わせた快適な生活の工夫を学習し、問題解決的な学習が展開できるようになっている。 ・ 「身近な消費生活と環境」の内容では、日常生活における消費者としての態度を考えられるように献立の材料の準備をリンクさせるなど、衣や食の内容と結び付ける視点を入れている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習を導くイラストに吹き出しを付け学習のポイントを示唆するようにし内容を深く理解できるようにしている。 ・ 調理実習や製作実習における器具・用具の扱い方・作業上の安全・衛生面など安全に注意すべき点を丁寧に解説し、「安全マーク」を配置して囲みで注意を喚起するようにしている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容・実習内容ともに基礎基本から応用へと児童の発達段階に応じて系統的に配列している。基礎技能の多くは5年で配分されている。調理実習の手順やミシンの使い方などは5年生で学んだ内容を6年生で再度使うことで、より確実な定着が図れるようにしている。 						
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭生活を大切にすることを育むために、自分の生活や家庭の仕事を見直したり、家庭の仕事に役立つ知識や技能を身につけることで、道徳教育で扱う、家族を敬愛し家族の役に立つことをしようすることに配慮している。 ・ キャリア教育に対応し、勤労を重んずる態度を養うために、家庭科に関連した職業を取り上げ「プロに聞く」の囲みを示している。 ・ 基礎技能の確認として巻末に取り上げている「いつも確かめよう」は、左利きの児童に対する配慮がなされている。 						

						種 目	家 庭
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	開隆堂出版 株式会社	
				家庭532 わたしたちの 家庭科5・6	家庭532 わたしたちの 家庭科5・6		
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨が生かされ、児童の実態に応じて内容が段階的に取り扱われている。また、「2学年間を通して家庭生活を総合的に捉える視点」から、学習する4つの内容において家庭生活との関連が図られるよう配慮されている。 「家庭生活と家族」の内容では、ガイダンスの学習を通して、これまでの学習を振り返ったり、2学年間の学習を見通したりできるよう工夫されている。2年間の学習を通して、「支えられている自分」から、「できるようになる自分」「成長していく自分」を意識していけるよう配慮されている。 「日常の食事と調理の基礎」の内容では、「ゆでる」から「いためる」まで加熱調理が段階的に習得できるようになっている。食品と五大栄養素、食品の働きの関係は、給食を基にして、児童の思考の流れにそって理解できるようになっている。第6学年の朝食作りや1食分の食事作りを通して、家族とともに楽しい食事ができるよう配慮されている。 「快適な衣服と住まい」の内容では、5年生で小物作りを通して基礎的・基本的な技能を習得し、6年生では生活を便利にしたり、楽しくしたりするものの製作に取り組むよう、段階的に取り扱われている。5年生で学んだ技能を6年生で再度使うことで、より確実な定着が図れるようになっている。衣生活・住生活の学習は、5年生で冬季、6年生で夏季を扱っており、段階的に対比しながら学べるようになっている。 「身近な消費生活と環境」の内容では、自分の生活にあった計画的な購入の仕方に配慮して、商品情報の集め方にも触れながら総合的に扱われている。また、「環境マーク」を設け、エネルギーや無駄なく使おうという意識を高めるよう配慮されている。環境を考える3つの視点(3R)に「断る」視点も加えた4Rがひとロメモに明確に記述されている。 「話し合おう」、「調べよう」、「考えよう」などのコーナーを示して、自分で考えたり、みんなで話し合ったり、表現したりする活動を促し、言語活動が十分に行われるよう配慮されている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な内容「生活を見つめ、できることを増やしていこう」の習得から、応用・発展的な内容「くふうして、生活に生かそう」という流れにより、児童の発達段階を考慮した扱いになっている。 実習、製作の手順が写真とイラストで示してあり、見開きページを利用して横流れのレイアウトになっていて、児童の視線、思考の流れに沿うよう工夫されている。 家庭科での安全・防災についての基本的事項が巻頭の折り込み頁にまとめられていたり、安全マーク、防災マークが随所に配置されたり火加減がイラストによって記されていて、安全に対する意識が高められるよう配慮されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 5学年ではスモールステップで学習を積み上げて基礎・基本を身に付け、6学年では計画的に工夫し、応用させながら生活に生かしていく力を身に付けられるよう、2年間の学習に見通しをもてるように配慮されている。 家庭生活や家族の題材が各学年の最初にあり、いずれも生活を見直すことから学習が始められるように配慮されている。 					
4 本書の特徴点 について		<ul style="list-style-type: none"> 題材の最後に、児童自身が学習成果や学習内容を振り返ってチェックできるような「できたかな」コーナーを設け児童が主体的に学習に取り組んでいけるよう配慮されている。 4つの内容ごとに色別のインデックスが設けてあり、学習内容がすぐにわかるようになっている。 日本の伝統的な食事(和食)を中心にした地域の文化や地域の食事を取り上げていて伝統的な文化からの学びが紹介されている。また、達人に聞きましたコーナーが加わりキャリア教育に対応し勤労を重んずる態度を養うために家庭科に対応した職業人が掲載されている。 巻末の折り込みに、実習や製作に必要な基礎的・基本的事項を掲載し、いつでも確認できるよう工夫されている。 					

平成31年度使用小学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

保 健

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	東京書籍 株式会社	
		保健331 新編新しいほけん3・4		保健531 新編新しい保健5. 6			
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>「けんこうな生活（3年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気な生活を送る様子と元気のない生活を送る様子をイラストで対比させ、健康に過ごすには食事、運動、休養・睡眠等のバランスのとれた生活が大切であることが理解しやすい内容となっている。 手洗いや歯磨きなど基本的な生活習慣についてチェック欄を設けて一日を振り返らせたり、「実験」コーナーで手に付いた菌の増加について写真で示したりして、健康にたい生活の仕方を考えさせる内容となっている。 <p>「育ちゆくからだわたし（4年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児のくつ、手形の写真が掲載されており、自分の成長がとらえやすいとともに、単元を通して意欲的に学習できるような工夫がされている。 「初経や精通を経験した時期」のグラフが掲載されているため、いづごろ起こるのが児童にとってわかりやすい。また、キャラクターが話している言葉や本文でも個人差について配慮されている。 <p>「心の健康（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストや文章を組み合わせた資料で児童の身近な生活場面を提示することにより心の発達についてより分かりやすく理解できる内容となっている。 友達との関わりの場面が示され、5年生と5才での対応の仕方の違いを考えさせ、児童が主体的に心の発達についてとらえやすい流れとなっている。 自分が不安や悩みをかかえているときどうしていたか振り返らせたいうえで、自分にとって効果がありそうな対処の方法を考えることで、不安や悩みへの対処の仕方の理解が深められるようになっている。 <p>「けがの防止（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校生活における事故」「地域でのけが」「交通事故」等のイラストから事故が起こりそうな場面を見つける作業を通して、話し合いができ、けがや事故の発生原因や防止について理解できるようになっている。 けが、事故、犯罪被害のグラフが掲載されており、児童の事故防止への意識を高めることが期待できる。 けがの手当についてイラストと文章を効果的に提示することにより、手当の仕方が正しく理解できるようになっている。 <p>「病気の予防（6年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の原因について大きく4つの項目に分けるとともに、児童にとって身近な事例が示されている。また、病原体がどのように体に入ってくるのかが、カラー写真、イラストで示されていることで児童にとって理解しやすい内容となっている。 食事（おやつを含む）と口の中の酸の状態がイラストや文を用いた時系列で表され、どのような生活をすればよいのかがつかみやすい。 喫煙を禁止する看板、飲酒運転を防ぐポスターを小単元の初めにのせてあり、児童がなぜいけないのかを考えながら学習できる展開となっている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が適切であり、本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになっている。 身長の伸びを確かめる活動では、児童が作業しやすいよう、例が掲載されている。 思考活動の場面において活用できる書き込み欄があり、児童が主体的に学習し、自分の考えを深めることができるよう工夫されている。 「まめちしき」のコーナーでは、児童が実生活に必要な情報が十分に示されている。 わかりやすいレイアウトや親しみやすい絵、写真を取り上げ、学習に意欲的、主体的に取り組めるように配慮されている。 発達段階に応じ、ポイントを明確にした理解しやすい図が使われている。 					

<p>3 組織・配列・分量について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。各単元とも課題が明確になっていて、「やってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」「ふり返ってみよう」など学習のしかたを明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。 「つなげよう」というコーナーがあり、他学年とのつながり、他教科とのつながりが示されている。 3、4年は29ページ、5、6年は51ページにまとめられている。
<p>4 本書の特徴点について</p>	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小單元ごとに、問題解決型の学習展開となっており、指導者、児童の双方にとってわかりやすい構成になっている。 大単元の最後に、「広げよう」「学習を振り返ろう」のコーナーがあり理解を深めることが期待できる。 教科書に様々なコーナーが設けられているとともに、目次の欄にマークの解説もあるため、効果的に学習が進められるようになっている。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健学習のはじめに将来の夢を考えさせ、それをかなえるためには健康が大切であるという、保健学習の必要性や大切さを伝えられるよう配慮されている。(口絵3) 1日の生活を考える場面では、規則正しい生活をしている例と生活のリズムが崩れている例が同じ観点で示され、自分の生活を振り返り、健康を保持増進させるための生活のしかたを考えられるよう配慮されている。(P6) 「大きくなってきたわたし」の導入では、生後11か月の実寸大の手形と靴が写真で掲載されており、児童が視覚的に自分の成長を実感できるよう工夫されている。(P16) <p>(5・6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心」の状態を提示して「体」のことを考えさせるだけでなく、「体」の状態を提示して「心」のことも考えられるようになっており、心と体は相互に影響し合っていることを、児童が実感できるよう配慮されている。(p4~5) イラストが丁寧で、その人物の表情により心の状態が視覚的に捉えることができるよう配慮されている。(p2~9) 「けがの防止」の導入で提示されているけがや事故を起こしそうな場面のイラストが、次時以降の学習でも取り上げられており、児童が継続して課題に取り組めるよう構成が工夫されている。(p12~16) 「けがの手当」では「まめちしき」や「はってん」としてAEDの説明や熱中症の予防と手当について取り上げられており、現代の課題等について関連が図られている。

平成31年度使用 (小 学 校) 教科用図書調査研究報告書

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	大日本図書 株式会社	
		保健332 新版たのしいほけん3・4年		保健532 新版たのしい保健5・6年			
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>「毎日の生活とけんこう（3年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の経験や考え、わかったことなどを記述させながらこれまでの生活について振り返らせ、自分の健康が様々な事柄と結びついていることを理解できる内容となっている。 <p>「育ちゆく体とわたし（4年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の成長の仕方や個人差についてグラフで比較したり、児童の体験談などをのせたりして、理解しやすい内容になっている。 <p>「心の健康（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な生活場面を示し、心のはたらきが日々の生活や人との関わりの中で発達することを理解しやすい内容になっている。 <p>「けがの防止（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童にとって身近な生活場面をイラストで示し、交通事故やけがの原因を理解し、けがの防止の仕方を考えながら学習できる内容になっている。 <p>「病気の予防（6年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の予防の仕方について考えるために、自分の生活を振り返りながら、イラストを交えてどのような生活をする必要があるのか理解しやすくなっている。 					
2 程度・選択・ 取扱い		<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入部分に、キャラクター探しやクロスワードパズルといったゲームが提示され、児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。 シールを使って取り組む課題が設定されており、児童の興味関心が高まるよう工夫されている。 					
3 組織・配列・ 分量について		<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの基本的な内容が見開き2ページまたは4ページに集約されており、見やすく、教師も進めやすい分量である。 よりよい成長に関して家庭科の学習と関連させた内容がある。（3・4年P26） 心の健康を保つために、学習指導要領体育科A体づくりの運動の中の体ほぐしの運動を紹介している。（5・6年P11） 3、4年は29ページ、5、6年は49ページにまとめられている。 					
4 本書の特徴点 について		<p>（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の欄外に「ミニちしき」の欄があり、児童の生活の改善や学習内容の理解に役立つ内容となっている。 課題を解決し、学習内容を理解するためのまとめでは、簡潔で分かりやすい文章にまとめられているとともに、専門的な立場のキャラクターの言葉によって示され、理解が定着しやすくなるよう配慮されている。 <p>（3・4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 手や衣類等のよごれを、写真を提示することで児童に視覚的に伝えている。 (P10、11) <p>（5・6年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「活用」では、たばこやお酒を勧められたときの断り方について、ロールプレイを通して学べるようになっている。（P41、43） 					

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 文教社	
		保健333 わたしたちのほけん3・4年		保健533 わたしたちの保健5・6年			
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<p>「毎日の生活とけんこう（3年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分が心がけていることに○をつけよう。」や「自分の生活調べをして、生活のリズムを見直そう。」などのチェック欄や生活を振り返る表などが多くあり、自分自身のこととして考えやすい内容となっている。 <p>「育ちゆく体とわたし（4年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体を一体としてとらえ、からだの変化には個人差があることに関する体験談があり、児童の立場に立った内容となっている。 <p>「心の健康（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心は、「感情」「社会性」「思考力」が相互に関わり合っていることが図で示されており、児童にとって理解しやすいようになっている。 ・「友達のいいところ見つけ」という内容が紹介されており、一人一人の児童が自己肯定感をもてるよう配慮されている。 <p>「けがの防止（5年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すり傷や切り傷の手当てのしかた」というコーナーがあり、自分で処置ができるような内容が掲載されている。 <p>「病気の予防（6年）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙と飲酒の害や健康被害について、図や写真・グラフを活用し、理解しやすい内容となっている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に記入できるチェック表が多く設けてあり、児童の学習意欲を高めることができるようになっている。 ・「やってみよう」というコーナーがあり、実践する意欲がもてるようになっている。 ・「情報コーナー 体を守るしくみ」が掲載されており、児童にとって身近な体の部位も体を守っていることが確認できる内容になっている。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の配列は適切であり、学習課題が明確に示されており、児童がめあてをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・学習指導要領「心の健康」の「ウ 不安や悩みへの対処」では、「思春期の心の健康」「心の健康アドバイス」という2つの大項目に分けられており、道徳との関連が意識されている。 ・3、4年は25ページ、5、6年は45ページにまとめられている。 						
4 本書の特徴点 について	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題、学習問題、問題解決、まとめという学習の流れが視覚的に捉えられやすいようになっている。 ・「つぶやきくん」というキャラクターが豆知識やメッセージなどを伝え、より学習内容の理解が深められるようになっている。 ・使われている色がやわらかく、見ていて目が疲れない。 ・著作関係者が西日本に多い。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返るためのチェック欄が設けられており、児童が健康によい生活の仕方を考えられるよう工夫されている。 <p>(5・6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アスリートからのメッセージ」コーナーでは、心と体の健康に関してスポーツ選手からのメッセージが掲載され、心の中に強く印象付け、親しみをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 						

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称							発行者名
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 光文書院	
		保健 334 小学ほけん けんこうってすばらしい 3・4年		保健 534 小学保健 見つめよう健康 5・6年			
観 点	調 査 の 結 果						
1 内容について	<p>「けんこうな生活」(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康的で、衛生的な生活を送るためのポイントのおさえが的確であり、発達段階に合った図の表記がなされているため、児童の望ましい生活習慣の確立につながっている内容となっている。 <p>「育ちゆく体とわたし」(4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女の発達の仕方は個人差があることや、思春期の心身の変化を取りあげ、からだの発育・発達について理解できる内容となっている。 <p>「心の健康」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 心の発達は、「感情」「社会性」「思考力」などと関わり合っていることを、発達との関係からおさえた内容となっている。 不安や悩みの原因や対処の仕方について具体的に示されており、児童が自己について考えやすい内容となっている。 <p>「けがの防止」(5年)</p> <ul style="list-style-type: none"> けがの手当ての方法が具体的に掲載されていて、自らの健康の保持増進につながる内容となっている。 犯罪被害に合わないための行動の仕方を考えて出し合うことで、自ら危険を予測し防止する力を身につけることのできる、生活に密着した内容になっている。 <p>「病気の予防」(6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気の原因、病気から体を守る働きなどが分かりやすく図示され、基本的な知識をじっくりと学べる内容となっている。 						
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が適切であり、本時の学習課題が明確に示されているため、児童が主体的に学習に取り組めるようになってきている。 交通事故の防止について、自転車の安全走行について学んだ後に、自転車の点検・整備の仕方も示している。 分かりやすいレイアウトや親しみやすい絵、児童が学習に興味を持ちたいような写真を取り上げ、教師にとって指導しやすく、児童にとっては主体的に学習に取り組めるよう工夫している。 						
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織、配列となっている。各単位時間ごとに学習課題を設定し、使用する資料も豊富で、課題解決に主体的に取り組める構成となっている。 エイズウイルスの説明では、日常生活ではうつらないことを図示しながら伝えるなど、知識の正確な理解につながるとともに人権教育に配慮した構成となっている。 3、4年は29ページ、5、6年は49ページにまとめられている。 						
4 本書の特徴点 について	<p>(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の展開構成として「つかむ」で学習課題をもち、学んだことをもとに、「あてはめよう、見つけよう、つたえよう」で考えたり表現したりする内容となっている。 児童に身につけさせたい重要な語句は太字で強調されているため、基礎・基本的な知識の習得につながりやすい。 <p>(3・4年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階ごとの心の変化が、異性との関わりを中心にわかりやすく説明してある。また、思春期の体の変化について性別ごとに色分けして表記してありポイントを絞った図示もされている。 <p>(5・6年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 虫歯や歯ぐきの病気の起こり方について、食後に歯みがき、口すすぎをする場合としない場合の歯こうの中の酸の強さを表すグラフなど、児童にとって分かりやすい表現でかかれている。 						

						種 目	保 健
教科用図書の記号・番号・名称						発行者名	
1年	2年	3年	4年	5年	6年	株式会社 学研教育みらい	
		保健335 新・みんなのほけん 3・4年		保健535 新・みんなの保健 5・6年			
観 点		調 査 の 結 果					
1 内容について		<p>・「毎日の生活と健康（3年）」 ・健康とはどんな状態のことをいうのか、自分の生活リズムはどうかチェックしながら学習を進められることで、生活リズムの改善につながるような内容になっている。 ・「育ちゆく体とわたし（4年）」 ・身長伸び方の図では、6才から18才までの身長伸びの様子が分かりやすいように、折れ線が入っており、個人差について理解しやすい内容となっている。 ・男女の成長の仕方や個人差についてイラストや写真を豊富に用いており、理解しやすい内容になっている。 「心の健康（5年）」 ・思春期の心の変化についてイラストを用いてわかりやすく説明している。また、心と体が密接に関わっていることを、自分の生活を振り返って確認したり、体験談を読んだりして理解できる内容となっている。また、困った時の相談窓口や地域の相談窓口を調べようというアドバイスを載せ、悩みの解決について具体的な行動がとれるようになっている。 「けがの防止（5年）」 ・けがや交通事故の原因を、身近な生活場面のイラストや写真を用いて説明している。防ぐにはどうすればよいかを考えさせる活動があり、児童が生活に生かせるような内容となっている。また、けがや事故を防ぐための工夫や努力について、写真を提示し理解を深められるようになっている。 「病気の予防」（6年） ・病原体によって起こる病気や生活の仕方によって起こる病気について、病気ごとに症状や起こり方を示しており、理解しやすい内容である。また、喫煙、飲酒、薬物による害については写真やグラフを用いたより詳しい内容であり、児童の理解を深めるとともに、心に強くうったえる内容となっている。</p>					
2 程度・選択・ 取扱い		<p>・単元の配列は適切であり、本時の学習課題が「ここで学ぶこと」として明確に示されているため、児童がめあてをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。 ・「科学の目」による科学的な資料により、児童が興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・発達段階に合わせて、文字の大きさやイラストが配慮され、児童が理解しやすいよう工夫されている。 ・発展のページが充実しており、もっと知りたい、もっと調べたいという意欲につながる内容となっている。</p>					
3 組織・配列・ 分量について		<p>・適切な組織、配列となっている。単位時間ごとの内容につながりがあり、学習をスムーズに進められる。 ・食中毒の予防やよりよい成長に関して、家庭科の学習と関連させた内容がある。 ・「学習のまとめ」では、振り返りをするだけでなく、「明日につなげる」という欄が設けられており、これからの生活の改善を意識できるよう構成が工夫されている。 ・3、4年は33ページ程度、5、6年は53ページ程度にまとめられている。</p>					
4 本書の特徴点 について		<p>(全体) ・健康な生活を守ることにについて養護教諭や学校医の話などがこまめに書かれており、児童が多くの人々に支えられていることを感じられる内容となっている。 ・イラストの表情が豊かで、気持ちが想像しやすい。 (3・4年) ・手や頭皮の写真を、清潔な場合とそうでない場合で比較しており、児童に視覚的にとらえやすい内容となっている。(P10) ・男女の成長の仕方のちがいがイラストで表されているだけでなく、児童の発達段階にあった体験談が掲載されており、個人差に対する児童の不安をやわらげる工夫がされている。(P18～23) (5・6年) ・思春期の児童の自己肯定感を高められるよう、自分自身で記入したり友達に記入してもらったりしながら自分の良さに気付ける活動がある。(P7) ・児童にとって身近な生活場面をイラストで示し、ロールプレイングをしながら周囲の人とのよりよいかかわり方について考えることができる内容となっている。(P7)</p>					